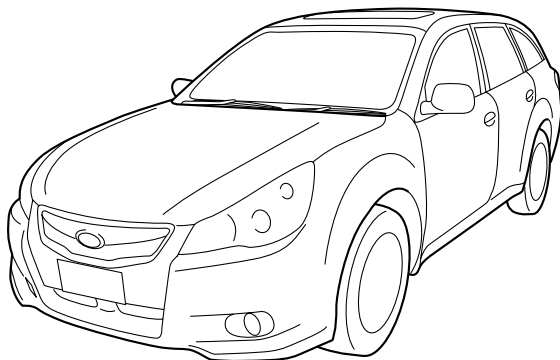


## このたびは「レガシィ」を お買い上げいただき、ありがとうございます。

本書は「EyeSight (アイサイト) ver.2」の取り扱いかたについて必要事項・重要事項をご説明しています。

安全で快適にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください。

本書では「EyeSight (ver.2)」は全て「EyeSight」と表記しております。  
EyeSightは運転者への事故被害や運転負荷を軽減するためのシステムです。  
運転するときは常に周囲の状況に注意しながら、安全運転を心がけてください。



- 交通ルール・マナーを守り運転しましょう。
- 「EyeSight (アイサイト)」以外の取り扱いについては、別冊の「レガシィ取扱説明書」を併せてお読みください。
- スバル販売店で取り付けられた装備（販売店オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。
- 保証内容および点検整備については、別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。
- 取扱説明書は「メンテナンスノート」とともに、お車に保管してください。
- お車をゆずられるときは、次のオーナーのために保証の有無にかかわらず取扱説明書、メンテナンスノートをお車につけておゆずりください。
- ご不明な点は担当営業スタッフにおたずねください。


車の仕様などの変更により、本書の内容がお車と一致しない場合がありますのでご了承ください。


# 本書の見かた

## 表示やマークについて


### 安全に関する表示

車に乗っている人や歩行者を含めた他の人が傷害を受ける可能性のあることや車体が損傷する可能性があることを回避法とともに示しています。

 <b>警告</b>	指示に従わないと、死亡、または重大な傷害を負う可能性があります。
---	----------------------------------

 <b>注意</b>	指示に従わないと、傷害を負う可能性があります。 また、車体が損傷する可能性があります。
---	--

### その他の表示

 <b>アドバイス</b>	知っておくと便利なこと 知っておいていただきたいこと
--	-------------------------------

# EyeSight (アイサイト)

EyeSightについて	2
全車速追従機能付クルーズコントロール	13
プリクラッシュブレーキ	33
AT誤発進抑制制御	39
車線逸脱警報	42
ふらつき警報	44
先行車発進お知らせ	46
定速クルーズコントロール	47
ブザー音一覧	56
EyeSightの故障および一時停止	57
カスタマイズ	60
故障と思う前に	61
さくいん	さくいん-1

# EyeSightについて

## EyeSight (アイサイト)

EyeSightはさまざまな機能によって、ドライバーの判断を助け、安全・快適で疲れの少ない運転を可能にする運転支援システムです。EyeSightは、スバル独自のステレオカメラを用いています。2台のCCDカメラを用いたステレオ画像処理により、先行車や障害物、車線などを認識します。

### 警告

ドライバーには通常の安全運転の義務があります。運転時は常に先行車との車間距離や、周囲の状況、運転環境に注意して必要に応じてブレーキペダルを踏むなど、安全運転に努めてください。

EyeSightだけに頼った運転は、絶対に行わないでください。

EyeSightは、運転者の判断を補助し、事故被害や運転負荷の軽減を目的としています。

わき見運転やぼんやり運転などドライバーの前方不注意を防止したり、悪天候時の視界不良下での運転を支援する装置ではありません。

また、あらゆる状況で衝突を回避するものではありません。

EyeSightの認識性能・制御性能には限界があります。全車速追従機能付クルーズコントロール、プリクラッシュブレーキ、AT誤発進抑制制御、定速クルーズコントロールの警告を必ず参照の上、正しくご使用ください。誤った使用をすると、適切に制御が行われず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 以下の状況では、システムが正しく動作しません。プリクラッシュブレーキ機能を OFF にしてください。また、全車速追従機能付クルーズコントロールを使用しないでください。
  - － タイヤの空気圧が適正でないとき※
  - － 応急用スペアタイヤを装着しているとき※
  - － 摩耗したタイヤまたは摩耗差の著しいタイヤを装着しているとき※
  - － 指定サイズ以外のタイヤを装着しているとき※
  - － サスペンションを改造したとき
  - － タイヤチェーンを装着しているとき
  - － ヘッドランプが汚れていたり光軸がずれているとき（対象物を正しく照射できず認識しづらい）
  - － 事故や故障で自車の走行が不安定なとき
  - － ブレーキ警告灯が点灯しているとき
  - － 重い荷物を積んで車が傾いているとき
  - － 定員を超えているとき

※ ホイールおよびタイヤは大変重要な役割を果たしていますので、適正なものを使用してください。

詳細は「レガシイ取扱説明書」を参照ください。


**アドバイス**

- ステレオカメラは人の目と似た特性を持っています。そのため、運転者にとって前方が見えにくい状況では、ステレオカメラも同様に前方の車両や障害物、車線を認識しづらくなります。
- 以下の状況では先行車、二輪車、歩行者、路上の障害物を認識しづらくなり、EyeSightが一時停止状態になる場合があります。この場合、状況が改善されれば再び機能は動作します。
  - －悪天候時（強い雨、吹雪、濃霧など。特にフロントガラスに油膜が付着したり、ガラスコーティング剤を使用したり、古いワイパーをお使いになった時に、一時停止しやすくなります。）
  - －前方から強い光（逆光やヘッドランプのハイビーム光など）を受けたとき
  - －フロントガラスに曇りや雪、汚れ、霜が付着し、ステレオカメラの視界を遮っているとき
  - －炎天下で放置した後など車内の温度が高いとき、または極寒の環境で放置した後など車内の温度が低いとき
  - －エンジンの始動直後
  - －荷物の積載などにより、極端に車両が傾いているとき
  - －先行車や対向車両の水や雪などの巻き上げや水蒸気、砂、煙が舞い、視界が充分でないとき
  - －トンネルの出入り口を通過するとき
  - －前方車両の最後面が小さい（例えばトレーラーなど）、低い、または凹凸があるとき
  - －フェンス、縦縞模様の壁、模様がまったくない壁がある場合
  - －ウインドウウォッシャーの使用直中または使用直後で、フロントガラスが十分に拭き取れていないとき
  - －雨滴やウインドウウォッシャーの水滴、またはワイパーブレードがステレオカメラの視野を遮ることにより、対象物の認識が不完全になったとき
  - －夜間またはトンネル内で、先行車のテールランプが点灯していないとき
  - －垂れ幕や旗、垂れ下がった枝、草むらなどを通過するとき
  - －急な上り坂、急な下り坂の場合
  - －カメラの前を手でふさぐなどした場合
  - －真っ暗で周囲に物がない場合
  - －周囲が一面雪で、物がない場合

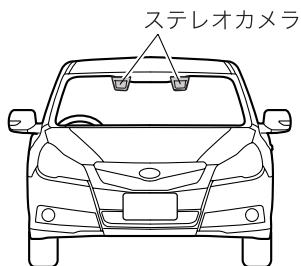
次ページへ ⇒

⇒前ページより

- EyeSight は、ブリクラッシュ 2 次ブレーキが作動したときに下記のデータを記録・蓄積します。会話などの音声は記録しません。
    - －ステレオカメラの画像情報
    - －先行車との車間距離
    - －車速
    - －ハンドルの操舵角
    - －進行方向に対しての横方向の動き
    - －アクセルペダルの操作状況
    - －ブレーキペダルの操作状況
    - －セレクトレバーの位置
    - －オドメーターの値
  - －ABS、VDCおよびTCSの制御に関する情報
- スバルおよびスバルが委託した第三者は、記録されたデータを、車の研究開発目的に取得・流用することがあります。なお、スバルおよびスバルが委託した第三者は、取得したデータを次の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。
- ・お車の所有者の同意がある場合
  - ・裁判所命令などの法的強制力のある要請に基づく場合
  - ・統計的な処理を行うなどの使用者や車が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

## ステレオカメラの取り扱いについて

ステレオカメラは天井の前席用スポットランプ部分に装着されています。



S00375


**注意**

- ステレオカメラ前面の汚れを自動で判定する機能を備えておりますが、万全ではありません。  
状況によっては、ステレオカメラ前面の汚れを判定できない場合があります。また、フロントガラスのステレオカメラ付近に雪や氷などが付着したときも、判定できない場合があります。このような状況では、車間距離が適切に保てない場合がありますので、常に前方に注意して走行してください。また、フロントガラスはいつもきれいにしておいてください。なお、汚れを判定した場合は、プリクラッシュブレーキおよび全車速追従機能付クルーズコントロールが自動的に解除されます。
- ステレオカメラのレンズ部は精密部品です。取り扱いについては、下記の注意事項を守ってください。
  - － ステレオカメラのレンズ部には絶対に触れないでください。また、レンズ部は清掃しないでください。  
万一、レンズ部に触ってしまった場合は、必ずスバル販売店にご相談ください。
  - － フロントガラスを清掃するとき、ステレオカメラのレンズ部にガラスクリーナーなどが付着しないように注意してください。
- ステレオカメラに強い衝撃や力を加えないでください。
- ステレオカメラを取り外したり、分解しないでください。
- ステレオカメラの取り付け位置を変更したり、周辺構造物の改造をしないでください。
- フロントガラス（外側、内側）は常にきれいな状態に保ってください。
- フロントガラス（外側、内側）にステッカーを貼ったり、アクセサリーを取り付けしないでください。
- フロントガラスにガラスコーティング剤などを使用しないでください。システムが正常に作動しない場合があります。
- ワイパーブレードは早めに交換してください。（拭き残しにより、障害物を認識しにくくなる場合があります）
- スバル純正品以外のルームミラー（ワイドタイプミラーなど）を装着しないでください。ステレオカメラの視野に影響し、機能が正常に動作しない可能性があります。
- スバル純正品以外のワイパーブレードを装着しないでください。ステレオカメラの視野に影響し、機能が正常に動作しない可能性があります。
- インstrumentパネル上に物を置かないでください。フロントガラスへの映り込みにより、ステレオカメラが正常に作動しない場合があります。詳しくはスバル販売店にご相談ください。
- フロントガラスを交換・修理する場合は、スバル販売店にご相談ください。

## EyeSightの機能について

EyeSightには、次の7つの機能があります。

### ■全車速追従機能付クルーズコントロール

クルーズコントロールをセットしてセット車速を保ちながら走行し、同一車線内に先行車がいる場合は、セット車速を上限とした追従走行を行います。

☆13ページ参照

### ■プリクラッシュブレーキ

前方の車両や障害物に衝突する可能性があるとき、車間距離警報により、ドライバーの回避操作を促します。それでもドライバーの回避操作がない場合、衝突の直前に自動的に急ブレーキをかけ衝突被害を軽減または、衝突を回避します。

☆33ページ参照

### ■AT誤発進抑制制御

ギヤの入れ間違いやペダルの踏み間違いによる誤った前進を抑制します。

☆39ページ参照

### ■車線逸脱警報

走行中、車線を逸脱しそうになると、注意を促します。

☆42ページ参照

### ■ふらつき警報

疲れやよそ見、ぼんやり運転、横風などによるふらつきを認識し、注意を促します。

☆44ページ参照

### ■先行車発進お知らせ

先行車が発進しても自車が発進しない場合にお知らせします。

☆46ページ参照

### ■定速クルーズコントロール

一定速度を保ちながら走行するモードです。追従走行は行いません。ステレオカメラが一時停止状態（57ページ参照）でも使用することができます。（この機能は全車速追従機能付クルーズコントロールから切り替えて使用します。）

☆47ページ参照

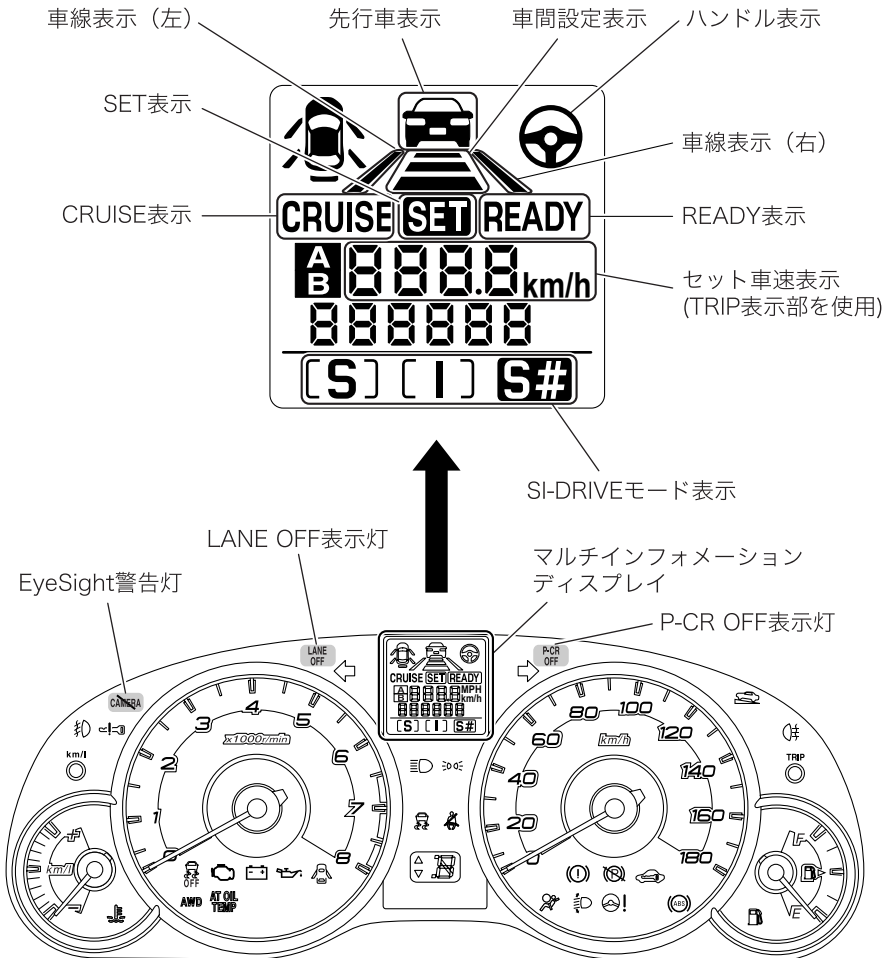


### アドバイス

EyeSightはエンジンがかかっていないとき、作動しません。



# メーター表示構成



S00376

## ●CRUISE表示 [全車速追従機能付/定速クルーズコントロール共通]

クルーズメインON時に点灯します。



### アドバイス

CRUISE（クルーズ）スイッチを押しながらエンジンを始動させると、EyeSight警告灯、P-CR OFF表示灯およびLANE OFF表示灯が点灯します。この場合、一旦エンジンスイッチをOFFにしてCRUISE（クルーズ）スイッチに触れずに再度エンジンを始動させてください。

☆18ページ参照

## ●SET表示 [全車速追従機能付/定速クルーズコントロール共通]

クルーズコントロールをセットすると表示が点灯し、停止保持中に点滅します。

☆18ページ参照

## ●READY表示

全車速追従機能付クルーズコントロールがセット可能なとき点灯します。

☆18ページ参照

## ●先行車表示

- 全車速追従機能付クルーズコントロールをセット中および停止保持中に、先行車を認識している場合点灯します。
- 下記の場合に車間設定表示とともに点滅します。
  - － 先行車発進お知らせ機能が作動するとき
  - － プリクラッシュブレーキが作動するとき
  - － ブレーキ踏み増し要求警報が作動するとき
  - － A T誤発進抑制制御が作動するとき
- 下記の場合に数回点滅します。

全車速追従機能付クルーズコントロールをセットして約 30 km/h 以下において、約 30 m 以内で追従走行していた先行車がいなくなって自動的に解除されたとき

☆18ページ参照

## ●車間設定表示

車間設定スイッチで設定した車間設定を表示します。

- 下記の場合に先行車表示とともに点滅します。
  - － ブレーキ踏み増し要求警報が作動するとき
  - － プリクラッシュブレーキが作動するとき
  - － AT誤発進抑制制御が作動するとき

☆18ページ参照

**●セット車速表示**

セット車速を表示します。

☆18ページ参照

**●SI-DRIVE※モード表示**

現在のSI-DRIVEモードを表示します。

※SI-DRIVEは、SUBARU Intelligent Driveに由来します。

☆11ページ参照

**●LANE OFF表示灯**

- 車線逸脱警報およびふらつき警報がOFFのとき点灯します。
- エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジン始動後約7秒後に消灯します。

☆43、45ページ参照

**●P-CR OFF表示灯**

- プリクラッシュブレーキおよびAT誤発進抑制制御がOFFのときに点灯します。
- エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジン始動後約7秒後に消灯します。

☆38、41ページ参照

**●EyeSight警告灯**

- EyeSightが故障したときに点灯または点滅します。
- エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジン始動後約5秒後に消灯します。
- 点灯または点滅しているときは、EyeSightの全機能（全車速追従機能付クルーズコントロール、プリクラッシュブレーキなど全て）が使用できません。

☆7ページ参照

**●車線表示**

- 車線逸脱警報が作動したとき、左右同時に点滅します。
- ふらつき警報が作動したとき、左右交互に点滅します。

☆42、45ページ参照

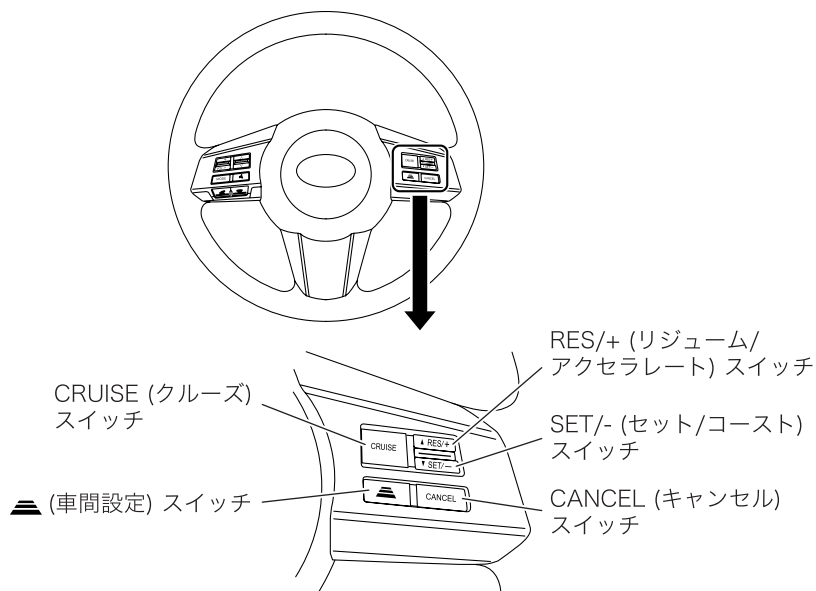
**●ハンドル表示**

車線逸脱警報またはふらつき警報が作動したとき、点滅します。

☆42、45ページ参照

## スイッチ構成

### ■ステアリングスイッチ [全車速追従機能付/定速クルーズコントロール]



S00274

#### ●CRUISE (クルーズ) スイッチ

- クルーズコントロール<sup>※</sup>のON・OFFができます。

<sup>※</sup> 全車速追従機能付クルーズコントロールおよび定速クルーズコントロール

☆18ページ参照

- このスイッチを押してメーターに“CRUISE”が表示されている状態を「クルーズメインON」といいます。

#### ●RES/SETスイッチ

##### SET/- (セット/コースト)

- クルーズコントロール<sup>※</sup>のセットができます。
- セット車速を下げるができます。(クルーズコントロール<sup>※</sup>がセット中のとき)
- 自車を減速させることができます。(クルーズコントロール<sup>※</sup>がセット中のとき長押し)

☆18、23、24ページ参照

## RES/+ (リジューム/アクセラレート)

- クルーズコントロール※を解除後、解除前のセット車速に再びセットすることができます。
- セット車速を上げることができます。(クルーズコントロール※がセット中のとき)
- 自車を加速させることができます。(クルーズコントロール※がセット中の長押し、ただし先行車に追従走行を行っている場合は除く)

※ 全車速追従機能付クルーズコントロールおよび定速クルーズコントロール  
 ☆22ページ参照

## ● CANCEL (キャンセル) スイッチ

クルーズコントロール※のセット状態を解除できます。

※ 全車速追従機能付クルーズコントロールおよび定速クルーズコントロール  
 ☆27、53ページ参照

## ● ≡ (車間設定) スイッチ

- 車間距離の設定を「長」「中」「短」の3段階に切り替えることができます。(全車速追従機能付クルーズコントロールのみ)

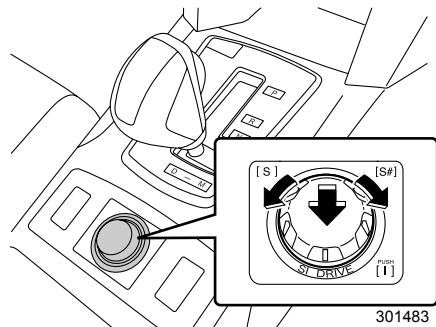
☆25ページ参照

- CRUISE (クルーズ) スイッチがONのとき、約2秒以上長押しすることで全車速追従機能付クルーズコントロールと定速クルーズコントロールを切り替えることができます。

## ■ SI-DRIVE※セレクター

SI-DRIVE に連動した追従特性の切り替えを行います。(全車速追従機能付クルーズコントロールのみ)

※ SI-DRIVEは、SUBARU Intelligent Driveに由来します。



301483

## ●SI-DRIVE※との協調制御

SI-DRIVEのモード切り替えにより、全車速追従機能付クルーズコントロールの特性を変えることができます。

I (インテリジェントモード) 選択時	穏やかな動きの追従走行を行います。
S (スポーツモード) 選択時	先行車への追従性能を重視した、メリハリのある追従走行を行います。
S# (スポーツシャープモード) 選択時	S(スポーツモード) 同等の追従走行を行います。ドライバーによるアクセル操作時は、S# (スポーツシャープ) のレスポンスが得られます。

※ SI-DRIVEは、SUBARU Intelligent Driveに由来します。

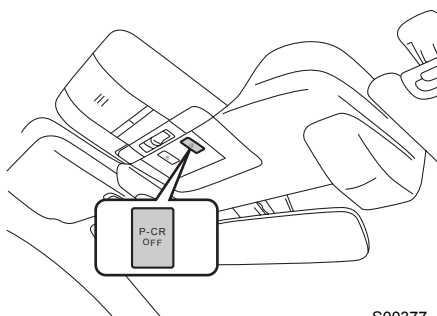
## ■P-CR OFFスイッチ

約2秒以上長押しすることで、プリクラッシュブレーキおよびAT誤発進抑制制御をOFFにできます。

OFFにするとメーター内のP-CR OFF表示灯が点灯します。

再度スイッチを長押しすると、プリクラッシュブレーキおよびAT誤発進抑制制御がONになり、P-CR OFF表示灯が消灯します。

☆38ページ参照



S00377

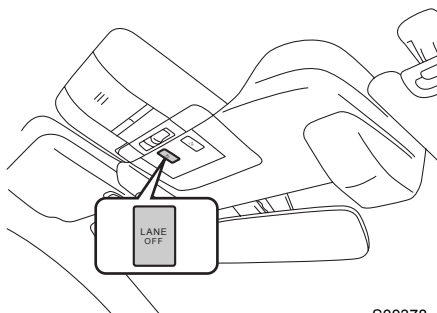
## ■LANE OFFスイッチ

約2秒以上長押しすることで、車線逸脱警報およびふらつき警報をOFFにできます。

OFFにするとメーター内のLANE OFF表示灯が点灯します。

再度スイッチを長押しすると、車線逸脱警報およびふらつき警報がONになり、LANE OFF表示灯が消灯します。

☆43ページ参照



S00378

# 全車速追従機能付クルーズコントロール

全車速追従機能付クルーズコントロールは、高速道路や自動車専用道路でのドライブをより快適に行っていただくための運転支援システムです。前方の自車線上の先行車をステレオカメラにより認識し、運転者が設定した車速を上限として車速に応じた車間距離を自動的に保ちながら追従走行を行い、停止したときは停止状態を保持します。

## 警告

- あらゆる走行状況を判断して自動的に運転する装置ではありません。
- 全車速追従機能付クルーズコントロール機能を過信しないでください。わき見運転やぼんやり運転など、ドライバーの前方不注意や視界不良での運転操作を補助する装置ではありません。また、追突を防止する装置ではありません。  
運転時は、常に先行車との距離や周囲の状況、運転環境に注意し、必要に応じてブレーキペダルを踏むなどして車間距離を保ち、安全運転に努めてください。
- 全車速追従機能付クルーズコントロールは、高速道路や有料道路など、自動車専用道路での使用を想定しています。次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので、全車速追従機能付クルーズコントロールを使用しないでください。
  - － 一般道（自動車専用道路以外）  
道路環境（道路が複雑な場合など）により、交通の状況に沿った走行ができない場合があり、事故につながるおそれがあります。
  - － 急カーブがある道
  - － 凍結路や積雪路など滑り易い路面  
タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。
  - － 頻繁な加減速により、車間距離が保ちにくい交通状況のとき  
交通環境に沿った走行ができない場合があります。
  - － 急な下り坂  
エンジブレーキが効かないため、セットした車速を超えてしまう場合があります。このとき自動ブレーキは作動しません。
  - － 急な下り坂で先行車を認識していて、追従走行している場合  
ブレーキが過熱するおそれがあります。
  - － 急な上り坂、下り坂を繰り返す道や陸橋など  
先行車を認識できなかったり、路面を認識したりして、適切に制御できないおそれがあります。
  - － インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリア、ジャンクション、料金所などに進入するとき  
先行車を認識できない場合があります。
  - － トネルの出入り口など、明るさが急に変化するとき
  - － 先行車や対向車が巻き上げた水や雪、または風に舞う砂や煙、水蒸気が前方にあるとき  
先行車を認識できなかったり、水などを認識したりして、適切に制御できないおそれがあります。

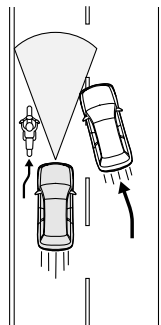
次ページへ ⇒

⇒前ページより

- － ウインドウウォッシャーの使用中または使用後で、フロントガラスが十分に拭き取れていないとき  
先行車を認識できず、適切に制御できないおそれがあります。
- 次に挙げる物体は、ステレオカメラでの認識が困難な場合があります。  
必要に応じてブレーキペダルを踏むなどの操作を行ってください。
  - － 速度差が大きい車両（低速走行車両、停止車両、対向車）
  - － 割り込み車両
  - － 道路脇を走行中の二輪車
  - － 歩行者、動物
  - － 夕方、朝方など
  - － 夜間またはトンネル内でヘッドランプを点灯していないとき
  - － 夜間またはトンネル内で先行車のテールランプが点灯していないとき
  - － 前方車両がトレーラーなど、後面が極端に小さいまたは凹凸があるとき
  - － 自車バンパーの極めて近い位置に物体があるとき
- 全車速追従機能付クルーズコントロールを使用しないときは、必ずクルーズスイッチをOFFにしてください。スイッチをONにした場合、思わぬ場面でセットしてしまうなどして、事故につながるおそれがあります。
- 全車速追従機能付クルーズコントロールを使用するときは、同乗者や車のまわりの安全を充分確認してください。また、車外からの操作は絶対に行わないでください。

### ステレオカメラによる先行車の認識について

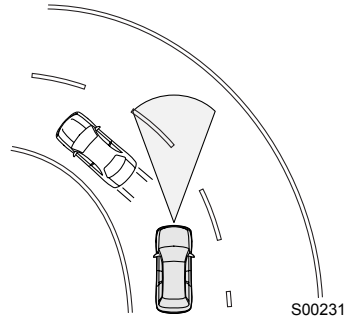
- 次のような道路形状や、自車の状況によっては、先行車を認識できない場合があります。また、隣車線の車や路側の物体を認識してしまうことがあります。このような状況下では、全車速追従機能付クルーズコントロールを使用しないでください。使用中の場合は、必要に応じてブレーキを踏むなどしてください。
  - － 先行車が割り込んできたときなど、車間距離が短い状態から追従を始めたとき



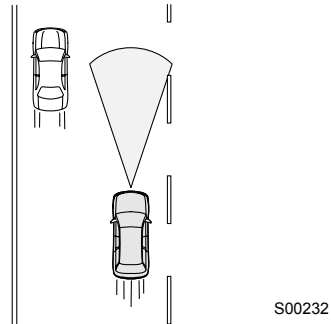
S00182



- カーブ路、カーブの出入り口、カーブが連続している道路（認識エリアから外れて認識できない場合があります）



- 先行車との位置が横にずれているとき



- 先行車との速度差が大きいとき
  - 前方に車両が割り込んできたとき
  - 極端に車間距離が狭いとき
  - 自車が車線内で蛇行しているとき
  - 凹凸のある道路を走行しているとき
  - 車線規制や工事中などで、車線の幅が狭い道路を走行しているとき
  - 事故や故障で自車の走行が不安定なとき
  - 自車の荷室やリヤシートに極端に重い荷物を積んだとき
  - 全車速追従機能付クルーズコントロールの能力には限界があります。先行車を認識していても速度差が大きい場合や急減速した場合は減速が間に合わないことがあります。必要に応じてブレーキを踏んで減速してください。
  - 日常点検でタイヤおよびブレーキに異常がないことを確認してから使用してください。
- ☆別冊のメンテナンスノート参照
- ブザー音が頻繁に鳴るような状況では、全車速追従機能付クルーズコントロールを使用しないでください。

次ページへ ⇒

⇒前ページより

- 短い車間距離でも、次の場合にはブレーキ踏み増し要求警報が作動しないことがあります。
  - － 先行車との相対速度が小さいとき（ほぼ同じ速度で走っているとき）
  - － 先行車の方が自転車より速いとき（車間距離が次第に離れているとき）
  - － 他車が至近距離に割り込んできたとき
  - － 先行車が急減速したとき
  - － 急な上り坂、下り坂が繰り返されるとき



### 注意

- 全車速追従走行開始後は、先行車の動きに合わせて制御を続け、先行車の停止に伴い自転車も停止した場合は停止状態を保持します。ただし、次のような場合は、停止しないことがあります。ブレーキペダルを踏み車間距離を保ってください。
  - － 先行車を見失ったとき
  - － 下り坂や、路面の勾配が変化したとき
  - － エンジン始動直後～走り出してからしばらくの間（暖機運転終了までを目安としてください）
  - － 寒いとき
  - － 雨などで路面が濡れているとき
  - － 連続してブレーキを使用した場合
- 停止保持状態から何もせずに自動で発進することはありません。
- 停止保持状態で自動解除される条件（☆ 28 ページ参照）を満たしたときは、全車速追従機能付クルーズコントロールの作動を解除するとともに、安全のため電動パーキングブレーキが自動的に作動します。

## 全車速追従機能付クルーズコントロールの機能

同一車線内に先行車がない場合は、セットした車速で定速走行をします。同一車線内に先行車がある場合は、セット車速を上限とした追従走行を行います。先行車の停止に続いて停止した場合は、停止状態を保持します。自車が0 km/h～100 km/hの範囲で作動します。

### ■ブレーキ踏み増し要求警報

全車速追従機能付クルーズコントロールによるブレーキ制御では減速しきれないと判断した場合に、ブザー音と表示でお知らせします。

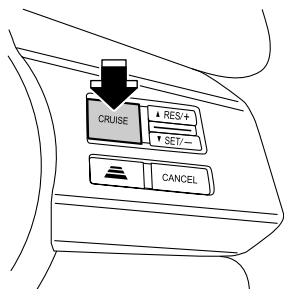
☆31ページ参照

#### アドバイス

- 前方約90 m以内の同一車線上の先行車をステレオカメラによって認識します。ただし、交通環境、走行状態、先行車の状態によっては認識距離が短くなる場合があります。
- 全車速追従機能付クルーズコントロールでは、SI-DRIVE のモードを変更することにより各モードの特徴を生かした追従走行をすることができます。
- カーブ走行中はセット車速が自車速より高いときや、アクセラレート操作中のときであっても、加速しない場合があるほか、減速する場合もあります。
- CRUISEスイッチを押してもクルーズ表示が点灯しない場合は、システムの異常が考えられます。スバル販売店に連絡し、点検を受けてください。
- 自動ブレーキ中に音が多少聞こえることがあります。制御によるものであり、異常ではありません。
- 自動ブレーキ中にブレーキを踏んだとき、ペダルが固く感じられることがあります。異常ではありません。ブレーキを一度離すことにより元の状態に戻ります。

## 全車速追従機能付クルーズコントロールの使用方法

- ① 全車速追従機能付クルーズコントロールをスタンバイさせます。  
CRUISE（クルーズ）スイッチを押します。このとき、マルチインフォメーションディスプレイに“CRUISE”と“車間設定”が表示されます。（“CRUISE”が表示された状態をクルーズメインON、表示されていない状態をクルーズメインOFFといいます。）  
トリップ表示部がセット車速表示部に切り替わり“--- km/h”が表示されます。



S00303


- ② 全車速追従機能付クルーズコントロールをセットします。  
SET 可能な状況になったときは、“READY”が表示されます。



S00388

SET可能な状況：

下記条件が全て満たされているとき

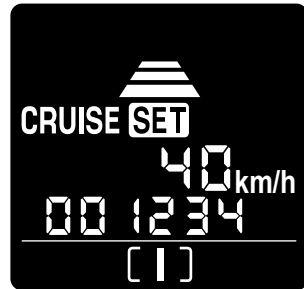
- － 運転席ドアが閉まっている
- － 運転席シートベルトが締められている
- － 電動パーキングブレーキがかかっていない（が消灯している）
- － セレクトレバーが「D」にあり、コンビネーションメーター内に「D」が表示されている
- － ブレーキペダルを踏んでいない
- － EyeSightが一時停止していない
- － 道路が急な坂でない
- － ハンドルを大きく切っていない
- － VDCをOFFにしていないとき
- － 自車速が0 km/h～100 km/hのとき

RES/SETスイッチをSET/－側に押します。

全車速追従機能付クルーズコントロールがセットされ、制御が開始します。

マルチインフォメーションディスプレイにSET表示が点灯します。

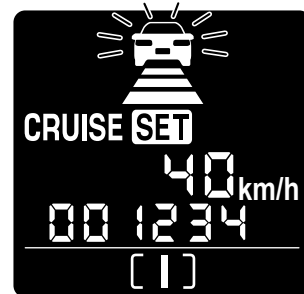
先行車を認識していないときは定速走行します。（40 km/h 以下で走行中にセットした場合、セット車速は自動的に40 km/hに設定されます。）



S00389

先行車を認識すると、“ピッ”と鳴ると同時に先行車表示が点灯します。

所定の車間距離を保って追従走行します。このとき、セット車速が速度の上限となります。また、先行車を認識しなくなったときは、“ピッ”と鳴ると同時に先行車表示が消灯します。



S00390

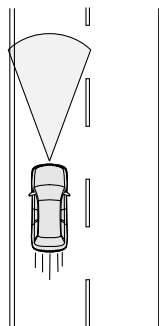
### アドバイス

全車速追従機能付クルーズコントロールをセット中に、先行車を認識したとき／先行車を認識しなくなったときのブザー音（先行車捕捉音）は、カスタマイズによりOFFに変更することができます。

☆60ページ参照

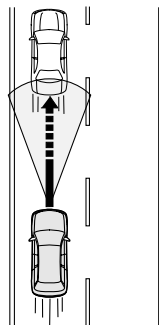
### 全車速追従機能付クルーズコントロールの作動

- 先行車がない場合  
セット車速 (40 km/h ~ 100 km/h) で  
定速走行します。



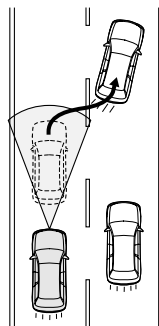
S00139

- 先行車がいる場合  
セット車速 (約40 km/h~100 km/h) を  
上限として、車速に応じた車間距離を保ち  
ながら追従走行を行います。



S00140

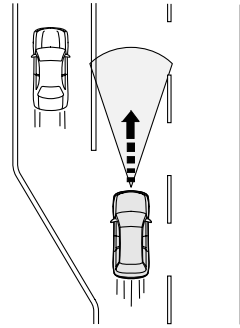
- 先行車がいなくなった場合  
約30 km/h以下において、約30 m以内で  
追従走行していた先行車を認識しなくなっ  
たときは、“ピーッ”というブザー音ととも  
に自動的に全車速追従機能付クルーズコン  
トロールを解除します。  
このとき、先行車表示が点滅します。



S00205

前述以外で先行車を認識しなくなったときは、セット車速までゆっくりと加速し、定速走行を行います。

セット車速までの加速中に先行車を認識すると、再び追従走行を行います。



S00142

### 🏠 アドバイス

- セット車速は40 km/h～100 km/hの範囲内でセットできます。
- 自車速が40 km/h以下のときにセットした場合、セット車速は40 km/hにセットされます。
- 全車速追従機能付クルーズコントロールの制御によりブレーキが作動したときは、制動灯が点灯します。
- マニュアルモードを選択している場合はセットできません。
- 素早く加速したいときはアクセルペダルを踏んで加速してください。

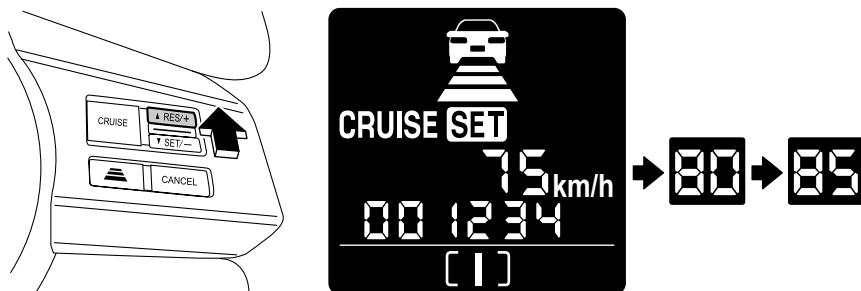
③ セット車速を変えます。

**セット車速を上げたいとき (タップアップ/アクセラレート)**

次の3つの方法があります。

● **タップアップ**

全車速追従機能付クルーズコントロールを設定して走行中に、RES/SET スイッチを RES/+側に押し、セット車速が5 km/hきざみで上がります。マルチインフォメーションディスプレイにセット車速が表示されます。

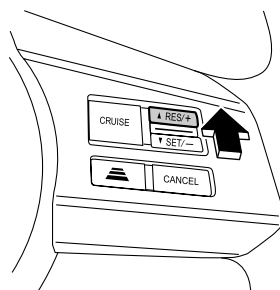


S00301

● **アクセラレート**

先行車がない場合に RES/SET スイッチを RES/+側に長く押し、押し続けている間だけ加速します。

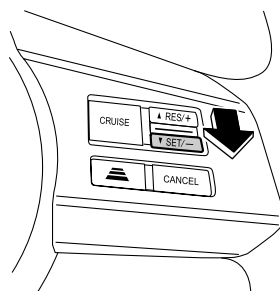
このあと、スイッチを離れたときの車速で再セットされます。



S00295

● **アクセルペダルによる方法**

アクセルペダルを踏み、速度を上げます。希望の速度になったら RES/SET スイッチを SET/-側に押し、スイッチを離れたときの車速で再セットされます。



S00288



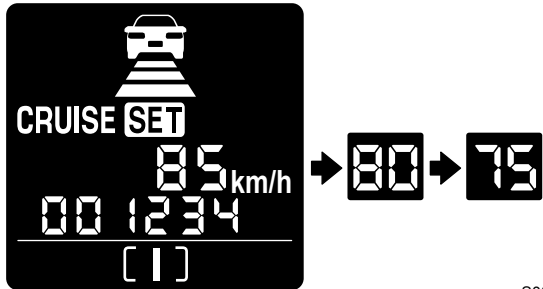
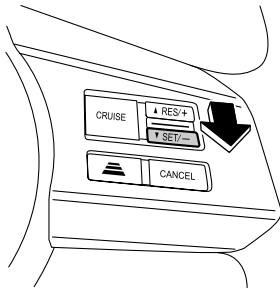
**セット車速を下げたいとき（タップダウン/コースト）**

次の3つの方法があります。

- **タップダウン**

全車速追従機能付クルーズコントロールを設定して走行中に、RES/SET スイッチを SET/ー側に押すと、セット車速が5 km/hきざみで下がります。

マルチインフォメーションディスプレイにセット車速が表示されます。

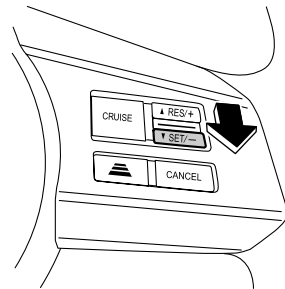


S00302

- **コースト**

RES/SET スイッチを SET/ー側に長く押すと、押している間だけ減速します。

このあと、スイッチを離れたときの車速で再セットされます。

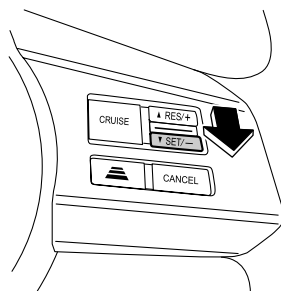


S00379

### **アドバイス**

コーストして自車速が 40km/h 未満になった後にスイッチを離れたときは、40km/h にセットされます。

- ブレーキペダルによる方法  
ブレーキペダルを踏み、速度を下げます。  
(全車速追従機能付クルーズコントロールが解除されます。)  
希望の速度になったら RES/SET スイッチを SET/- 側に押しします。



S00379

- ④ 一時的に加速したいときは、アクセルペダルを踏みます。  
アクセルペダルを離すと、セット車速まで戻ります。

- ⑤ 減速したいときは、ブレーキペダルを踏みます。  
このとき、全車速追従機能付クルーズコントロールは解除されます。  
マルチインフォメーションディスプレイのセット車速はそのまま表示され、セット待機状態になります。




S00391

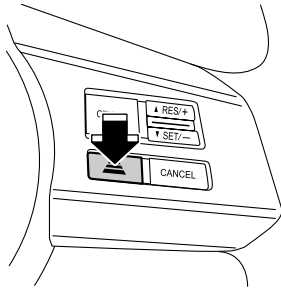
**注意**




- 全車速追従制御しているときは、先行車に合わせた車速で制御されるため、RES/SETスイッチをRES/+側に押して、先行車の速度以上にセット車速を上げて加速しません。  
ただし、セット車速は変更されているため、先行車を認識しなくなるとその設定した車速まで加速します。セット車速はマルチインフォメーションディスプレイのセット車速表示を確認しながら変更してください。
- 全車速追従機能付クルーズコントロールを設定中でアクセルペダルを踏んでいるときは、全車速追従機能付クルーズコントロールによる自動ブレーキも警報も行いません。ただしこのときでも前方障害物への衝突の危険性が高いときは、プリクラッシュブレーキによる警報やブレーキ制御が作動することがあります。

- 通常、追従制御中は先行車の速度に合わせて自動的に加減速を行います。しかし車線変更などで加速が必要な場合や先行車が急減速したとき、他車が割り込むなどして先行車に接近しそうになったときなどは、アクセルペダルまたはブレーキペダルを踏んで、周囲の状況に応じた適切な加減速を行ってください。

⑥ 車間設定を変えたいときは、先行車との車間距離を選ぶことができます。


 (車間設定) スイッチを押すごとに先行車との車間距離が「長」→「中」→「短」→「長」の順に切り替わります。



車間設定	ディスプレイ
長	
中	
短	

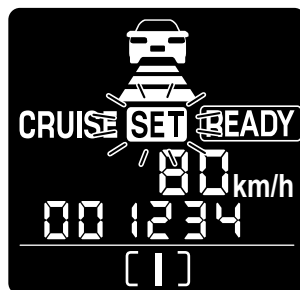
S00290

### アドバイス

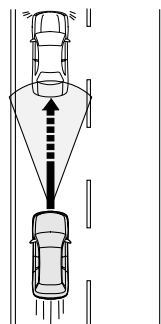
- クルーズスイッチをOFFにしたり、エンジンをかけるたびに、車間設定は「長」の設定となります。再び車間設定を変えるときは、 (車間設定) スイッチを押してください。
- 車間距離は車速に応じて変わり、車速が高いほど長くなります。
- 車速100 km/hで走行しているとき、車間設定での車間距離の目安は次の通りです。
  - 長：約50 m
  - 中：約40 m
  - 短：約30 m
- 車速40 km/hで走行しているとき、車間設定での車間距離の目安は次の通りです。
  - 長：約25 m
  - 中：約20 m
  - 短：約15 m

⑦ 先行車の停止に続いて自車も停止します。(停止保持)

先行車に続いて停止した場合は、全車速追従機能付クルーズコントロールのセット状態を解除し、停止保持を開始します。“SET” が点滅します。



S00392



S00306

⑧ 停止保持状態から全車速追従機能付クルーズコントロールをセットします。

### RES/SET スイッチによるセット方法

停止保持状態でないときと同様にセットできます。

SET/－側に押す (☆18ページ「② 全車速追従機能付クルーズコントロールをセットします。」を参照)


RES/+側に押す (☆31ページ「⑩ メモリーされている車速に再びセットします。」を参照)

### 🏠 アドバイス

- 先行車が停車したままの状態でも、RES/SET スイッチを操作すると、全車速追従機能付クルーズコントロールのセットが受け付けられます。(SET表示が点滅から点灯に切り替わります。)
- セットされた状態で先行車が発進したときは自車も続いて発進し、追従走行を行います。ただし発進しなかったときは、約3秒後に再び停止保持状態に自動的に戻ります。

### アクセルペダルによるセット方法

停止保持中にアクセルペダルを踏むと停止保持を解除します。このとき全車速追従機能付クルーズコントロールがセットされた状態になります。

 **アドバイス**

アクセルペダルを極めて軽く踏んだ場合、停止保持が解除できず、セットできないことがあります。

⑨全車速追従機能付クルーズコントロールを解除します。

**ドライバー操作による解除方法**

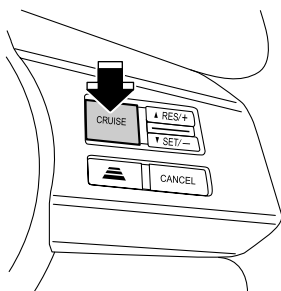
次のいずれかの操作で全車速追従機能付クルーズコントロールが解除されます。

- CANCEL (キャンセル) スイッチを押す、  
またはブレーキペダルを踏む。



S00393

- CRUISE (クルーズ) スイッチを押す。








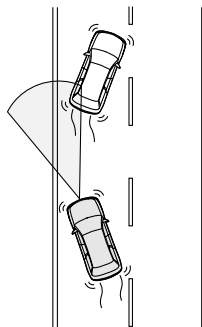
S00292

### システムによる自動解除

次の場合は、“ピーッ”というブザー音とともに全車速追従機能付クルーズコントロールが自動的に解除されます。停止保持中であった場合は、電動パーキングブレーキが自動的に作動します。

#### ● 条件

- － ABS、VDCまたはTCSが作動したとき
- － 運転席のドアを開けたとき
- － 運転席のシートベルトを外したとき
- － 電動パーキングブレーキがかかっているとき（が点灯または点滅しているとき）
- － 道路の勾配が急なとき
- － セット中に自車速が約 140 km/h を超えたとき
- － 約 30 km/h 以下において、約 30 m 以内で追従走行していた先行車がいなくなったとき（このとき先行車表示が点滅します）
- － セレクトレバーを  以外にしたとき
- － AT をマニュアルモードにしたとき  レンジに戻すことにより再度使用することができます。
- －  レンジで走行中パドルシフトを操作したとき シフト表示が  に戻ると再度使用することができます。
- － VDC を OFF にしたとき VDC を ON に戻すことにより再度使用することができます。
- － EyeSight が一時停止状態のとき




S00200

#### ☆57ページ参照

- － ハンドルを大きく回したとき
- － EyeSight が故障したとき

 **警告**

滑りやすい路面では、思わぬ事故につながるおそれがありますので、全車速追従機能付クルーズコントロールを使用しないでください。

 **アドバイス**

- 一時停止した場合は、P-CR OFF 表示灯および LANE OFF 表示灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイにE1～E3が表示されます。
- EyeSight が故障した場合は EyeSight 警告灯、P-CR OFF 表示灯および LANE OFF 表示灯が点灯します。その場合は安全な場所に停車して、一度エンジンを止めてから再びエンジンを始動してください。この操作しても表示が点灯し続けるときは、全車速追従機能付クルーズコントロールの使用ができません。通常走行には支障はありませんが、スバル販売店で点検を受けてください。
- 全車速追従機能付クルーズコントロールが自動で解除されたときは、解除されたときの条件が解消されてから、再びセット操作を行ってください。条件が解消されてもセットできないときは、EyeSight の異常が考えられます。通常走行には支障ありませんが、スバル販売店で点検を受けてください。

### 全車速追従機能付クルーズコントロールによる停止保持を解除する

停止保持中に次の操作をすると、全車速追従機能付クルーズコントロールが解除されま  
す。

- CANCELスイッチを押したとき
- CRUISEスイッチを押して、クルーズメインOFFにしたとき
- ブレーキペダルを踏んだとき
- 電動パーキングブレーキのスイッチを押して電動パーキングブレーキを作動させたとき

#### 警告

- 停止保持中は車から離れないでください。
- 停止保持状態は電動パーキングブレーキの代わりではありません。  
駐車するときは電動パーキングブレーキを使用してください。

#### 注意

次の場合はクルーズコントロールによる停止保持を解除します。

- 停止保持状態で約2分経過したとき（“ピ、ピ、ピ、ピ、ピ、ピーツ”とブ  
ザー音が鳴ります。）
- 自動解除条件を満たしたとき（“ピーツ”とブザー音が鳴ります。）

☆28ページ参照

停止保持を解除した後は、自動的に電動パーキングブレーキが作動して  
①が点灯します。ただし、電動パーキングブレーキの解除条件（アクセル  
連動や電動パーキングブレーキのスイッチ操作など）が成立している場合は  
作動しません（詳細は「レガシイ取扱説明書」を参照ください）。

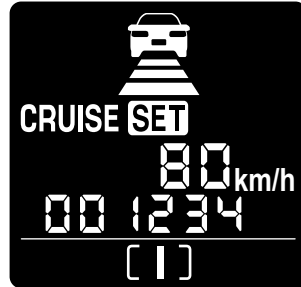
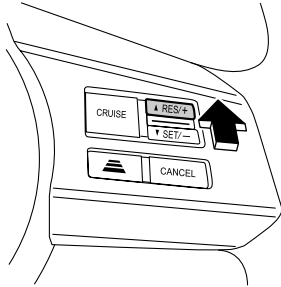
停止保持中にアクセルペダルを極めて軽く踏み続けた場合は、クルーズコン  
トロールによる停止保持は解除しますが、電動パーキングブレーキが作動し  
ないことがあります。

☆27ページ参照



⑩ メモリーされている車速に再びセットします。

前回のセット車速がメモリーされていますので、その車速に再びセットしたいときは、RES/SETスイッチをRES/+側に押します。(マルチインフォメーションディスプレイが再びセット状態の表示になります)

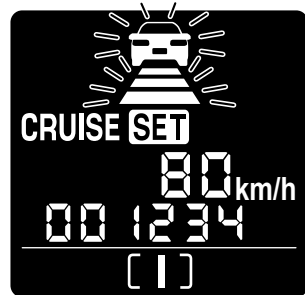


S00287

⑪ ブレーキ踏み増し要求警報は、ブレーキ制御による減速では不十分と判断した場合に、ブザー音と表示でお知らせします。

ブレーキ踏み増し要求警報は全車速追従機能付クルーズコントロールによる追従走行中に作動します。ブレーキ制御による減速では不十分と判断した場合、運転者に注意を促す機能です。

- この機能が作動すると、メーターの先行車表示と車間設定表示が点滅し、ブザーが“ピピピ…”と鳴ります。
- この機能が作動した場合は、必要に応じてブレーキを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。



S00307

 **警告**

- ブザー音が頻繁に鳴るような状況では、全車速追従機能付クルーズコントロールを使用しないでください。
- 次の場合にはブレーキ踏み増し要求警報は作動しません。
  - － アクセルペダルを踏んでいるとき
  - － ブレーキペダルを踏んでいるとき
- 次の場合にはブレーキ踏み増し要求警報は作動しないことがあります。
  - － 先行車との速度差が小さいとき
  - － 先行車の方が自車より速いとき
  - － 他車が至近距離に割り込んできたとき
  - － 先行車が急減速したとき
  - － 急な上り坂、下り坂のとき
- 料金所や渋滞の最後尾で停車中の車両や、自車速より極端に車速が遅い車両は認識が遅れて、ブレーキ踏み増し要求警報が作動しないことがあります。

⑫ 電動パーキングブレーキ作動状態からセットします。

電動パーキングブレーキ作動状態では、例えばアクセルペダルを踏むなどして電動パーキングブレーキを解除した後、設定操作を行ってください。電動パーキングブレーキ解除方法詳細は「レガシィ取扱説明書」を参照ください。

# プリクラッシュブレーキ

前方障害物に衝突する可能性がある場合、運転者への警報による衝突回避の支援を行います。それでも運転者の衝突回避操作がない場合、衝突の直前に自動的に急ブレーキをかけ、衝突被害を軽減または衝突を回避します。また、衝突する可能性が高い場合に運転者がブレーキペダルを踏み込んだときにブレーキアシストが作動します（プリクラッシュブレーキアシスト）。

これらの機能は、フルラップ（正面）衝突だけでなくオフセット（右または左）衝突にも対応しています。セレクトレバーが **D**、**M** または **N** で作動します。

## 警告

- プリクラッシュブレーキおよびプリクラッシュブレーキアシストを、日常の車両停止のためには絶対に使用しないでください。プリクラッシュブレーキはあらゆる状況で衝突を回避するものではありません。ブレーキの作動をプリクラッシュブレーキのみに頼っていると、衝突事故を起こす場合があります。
- EyeSight のプリクラッシュブレーキ機能は、衝突の回避、あるいは、衝突の被害を軽減することを目的として設計しています。プリクラッシュブレーキ機能は衝突が避けられないと判断した段階で作動し、衝突直前で強いブレーキをかけるように設定していますので、その効果は様々な条件（※）により変わります。そのため、常に同じ性能が発揮できるものではありません。
- アクセルペダルを踏んだままプリクラッシュブレーキが作動したとき、ブレーキの効きが悪くなり本来の性能を発揮できない場合があります。
- 運転者がブレーキペダルを踏んでいたり、ハンドルを操作していたりすると、その操作状態によっては運転者の回避操作として判断され、自動ブレーキが作動しない場合があります。
- 前方の車両との速度差が30 km/hより大きい場合、EyeSightの性能限界から衝突を回避することはできません。また、速度差が30 km/h以下であっても、他の車両が急に割り込んだ場合や、視界、路面の滑りやすさなどの条件（※）の違いにより、止まりきれないことや作動しないこともあります。また、プリクラッシュブレーキアシストも同様に条件（※）の違いにより作動しないことがあります。

### ※条件

- 前方車両との速度差、車間距離、接近の状態、横方向のずれ具合（オフセット量）
- 車両の状態（積載量、乗員など）
- 路面の状態（勾配、滑りやすさ、形状、凹凸など）
- 前方の視界が悪いとき（雨、雪、霧、煙など）
- 対象物が小さいとき（小動物、幼児など）
- 運転者の操作状態（アクセル、ブレーキ、ハンドルなど）

次ページへ ⇒

⇒前ページより

- 車両の整備状態（ブレーキ関係、タイヤの摩耗、空気圧、スペアタイヤなど）
  - ステレオカメラの認識状態
- 特に次の場合は止まりきれないことや、作動しない可能性が高くなります。
- ・悪天候（強い雨、吹雪、濃霧）のとき
  - ・先行車や対向車両の水や雪などの巻き上げや、砂や煙が舞い、視界が充分でないとき
  - ・夜間またはトンネル内でヘッドランプを点灯していないとき
  - ・夜間またはトンネル内で先行車のテールランプが点灯していないとき
  - ・夜間の二輪車、自転車、歩行者に対する接近
  - ・夕方、朝方の薄暗いとき
  - ・前方車両の最後面が小さい（例えばトレーラーなど）、低い、または凹凸があるとき（最後面ではない部分を認識して作動を判断することもあります）
  - ・先行車が急ハンドル、急加速、急減速したとき
  - ・自車バンパーの極めて近い位置に車、二輪車、自転車、歩行者が存在したり、それらに非常に小さい速度差で接近するとき
  - ・車、二輪車、自転車、歩行者が横から割り込んだり、飛び出してきたとき
  - ・自車が車線変更を行い、先行車のすぐ後ろに接近したとき
  - ・前方から強い光（逆光やヘッドランプのハイビーム光など）を受けたとき
  - ・フロントガラスに曇りや雪、汚れ、霜が付着しているとき
  - ・ウインドウウォッシャーの使用または使用後で、フロントガラスが十分に拭き取れていないとき
  - ・雨滴やウインドウウォッシャーの水滴、またはワイパーブレードがステレオカメラの視野を遮ることにより、対象物の認識が不完全になったとき
  - ・ヘッドランプ照射範囲外に車、二輪車、自転車、歩行者が存在するとき
  - ・急カーブ、急な上り坂、急な下り坂の場合
  - ・トンネルの出入り口を通過するとき
  - ・フェンス、縦縞模様の壁、模様が全くない壁があるとき

## ⚠ 注意

- 次のような場合は、必ずプリクラッシュブレーキをOFFにしてください。  
プリクラッシュブレーキが予期しない作動をする可能性があります。
    - －けん引されるとき
    - －キャリアカーに積載するとき
    - －シャシーダイナモメーターやフリーローラーなどを使用するとき
    - －リフトアップし、エンジンをかけタイヤを空転させたいとき
    - －垂れ幕や旗、垂れ下がった枝、草むらなどに触れながら通過するとき
    - －サーキットなどでスポーツ走行するとき
  - 次のような場合は、プリクラッシュブレーキが作動することがありますので安全運転に努めてください。
    - －ETCゲートなどを規定速度を超えるような速度で通過するとき
    - －前車に接近して走行するとき
    - －路面の勾配が急に変化する場所を走行するとき
    - －水蒸気や煙のかたまりを通過するとき
    - －カーブや交差点に障害物があるとき
- プリクラッシュブレーキによる停止後、約2秒でゆっくりと自動ブレーキが解除され、クリープ走行を開始します。必ずブレーキペダルを踏んで車両を停止させてください。

## 🏠 アドバイス

- P-CR OFF表示灯が点灯しているときはプリクラッシュブレーキは作動しません。P-CR OFF表示灯が点灯する主な条件は、次のような場合です。
  - －P-CR OFFスイッチを約2秒以上長押ししたとき
  - －VDC OFFスイッチを押してVDCを作動停止状態にしたとき
  - －エンジン始動後の約7秒間
  - －EyeSightが故障したとき※
  - －EyeSightが一時停止したとき※
- ※57ページ参照
- 自動ブレーキ中に音が聞こえることがあります。制御によるものであり、異常ではありません。
- 自動ブレーキ中にブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが固く感じられることがあります。異常ではありません。

## プリクラッシュブレーキの作動

走行中、前方に障害物があるとき、以下の順にシステムが作動し、運転者への注意喚起とブレーキ制御を行い、制動灯も点灯します。

車間距離警報：

衝突の可能性があると判断した場合に、“ピピピ…”というブザー音とメーター内の表示で注意を促します。

車間距離警報は全車速追従機能付クルーズコントロールをセットしていないときに作動します。

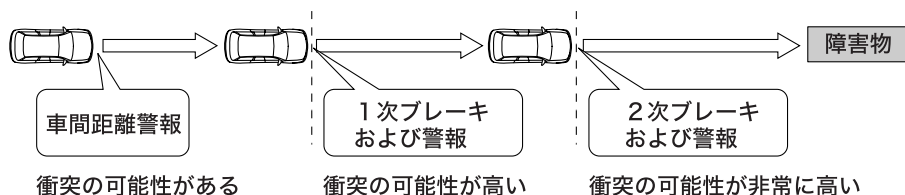
ブレーキを踏んで減速し、適切な車間距離をとると解除します。




1次ブレーキおよび警報：


走行時に前方障害物に衝突する可能性が高いと判断した場合、“ピピピ…”というブザー音とメーター内の表示で注意を促し、ブレーキ制御を行います。運転者の衝突回避操作（ブレーキ、ハンドルなど）の操作量により、衝突する可能性が低くなったと判断した場合、作動を解除します。

2次ブレーキおよび警報：


さらに衝突する可能性が非常に高いと判断した場合、“ピー”というブザー音に変わり、1次ブレーキより強くブレーキ制御を行います。その後、運転者による衝突回避操作の有無にかかわらず、衝突が回避できないと判断した場合、ブレーキ制御を継続します。停止後は、約2秒でゆっくりと自動ブレーキが解除され、クリープ走行を開始します。



	自動ブレーキの強さ	追従クルーズ動作表示および車間距離警告灯の点灯	ブザー音
車間距離警報	ブレーキ制御なし	「  」が点滅	ピピピ…
1次ブレーキおよび警報	弱い	「  」が点滅	ピピピ…
2次ブレーキおよび警報	強い	「  」が点滅	ピー

 **注意**


EyeSight警告灯 (CAMERA) が点灯または点滅しているときは、プリクラッシュブレーキは作動しません。

 **アドバイス**

自車速が約 1 km/h 以下または 140 km/h 以上のときはプリクラッシュブレーキは作動しません。

## プリクラッシュブレーキアシストの作動

車速が約10 km/h以上で走行中、プリクラッシュ1次ブレーキ作動後（前方障害物に衝突する可能性が高いと判断後）、運転者がブレーキペダルを踏み込んだとき、緊急制動と判断し、ブレーキアシストが作動します。

 **注意**

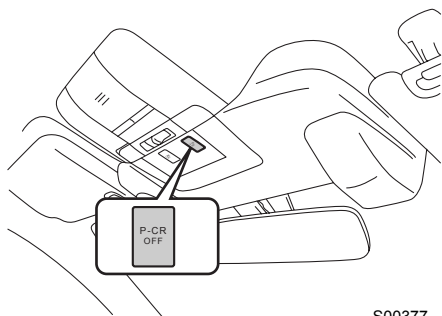
車間距離警報だけ作動している状態で運転者がブレーキペダルを踏んでも、プリクラッシュブレーキアシストは作動しません。（運転者による通常の制動力で減速します。）

 **アドバイス**

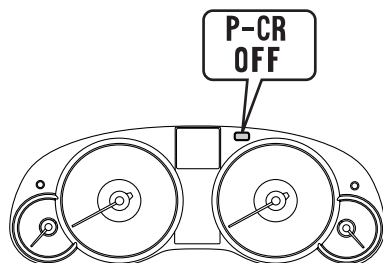
ブレーキアシスト機能については「レガシィ取扱説明書」をご参照ください。

## プリクラッシュブレーキをOFFにするとき

P-CR OFFスイッチを約2秒以上長押しすることによって、プリクラッシュブレーキ（プリクラッシュブレーキアシストも含む）をOFFにすることができます。OFFにすると、メーター内のP-CR OFF表示灯が点灯します。ONに戻すときは再度P-CR OFFスイッチを約2秒以上長押ししてください。ONにすると、P-CR OFF表示灯が消灯します。



S00377



S00381

### アドバイス

- プリクラッシュブレーキをOFFにすると、AT誤発進抑制制御もOFFになります。
- プリクラッシュブレーキをOFFにしても、エンジンスイッチをOFFにし、再度エンジンを始動するとプリクラッシュブレーキはONになります。



# AT誤発進抑制制御

前方に障害物を認識している場合、停車または徐行状態から、ペダルの踏み間違いなどによりアクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断したとき、エンジン出力を制限し発進をゆるやかにします。

AT 誤発進抑制制御を過信しないでください。AT 誤発進抑制制御は衝突を回避するものではありません。発進時はシフトやペダルの位置を充分ご確認のうえ、操作をするなど安全運転に努めてください。

このシステムが作動すると、ブザーが“ピピピ…”と鳴り、先行車表示と車間設定表示が点滅します。

この機能はセレクトレバーが[D]または[M]で作動します。



S00382



S00311


## 警告

- AT誤発進抑制制御は停止状態を保つものではありません。
- AT 誤発進抑制制御はあらゆる状況で発進を緩やかにするものではありません。また、衝突を回避するものではありません。
- 故意に障害物の近くでアクセルペダルを過剰に踏み込まないでください。アクセルの調節を AT 誤発進抑制制御のみに頼っていると衝突事故を起こす場合があります。
- 万一、自車が踏切内で閉じ込められた場合、ステレオカメラが遮断機を障害物と認識し、AT 誤発進抑制制御が作動することがあります。遮断機を押し進める場合は、慌てずにアクセルペダルを踏み続けるかまたは AT誤発進抑制制御をOFFにしてください。
- 次の条件の違いにより作動しないことがあります。
  - － 障害物との距離、速度差、横方向のずれ具合（オフセット量）
  - － ステレオカメラの認識状態
 特に次の場合は作動しない可能性が高くなります。
  - ・ 悪天候（強い雨、吹雪、濃霧）のとき
  - ・ 砂や煙が舞い、視界が充分でないとき
  - ・ 夕方、朝方の薄暗いときや、夜間に障害物に接近するとき

次ページへ ⇒

⇒前ページより

- ・ 障害物の高さが低いとき（低い壁、低いガードレールなど）
  - ・ 障害物が小さいとき（小動物、幼児など）
  - ・ 障害物や前方車両（トレーラーなど）の最後面が小さいときや、接近しすぎたとき（最後面が認識できず作動しないこともあります）
  - ・ 車、二輪車、自転車、歩行者、障害物が横から割り込んだり、飛び出してきたとき
  - ・ 自車が進路変更を行い、障害物のすぐ後ろに接近したとき
  - ・ 前方から強い光（逆光やヘッドランプのハイビーム光など）を受けたとき
  - ・ フロントガラスに曇りや雪、汚れ、霜が付着しているとき
  - ・ ウインドウウォッシャーの使用または使用後で、フロントガラスが十分に拭き取れていないとき
  - ・ 雨滴やウインドウウォッシャーの水滴、またはワイパーブレードがステレオカメラの視野を遮ることにより、対象物の認識が不完全になったとき
  - ・ ヘッドランプ照射範囲外に障害物が存在するとき
  - ・ 急カーブ、急な上り坂、急な下り坂のとき
  - ・ フェンス、縦縞模様の壁、模様が全くない壁があるとき
- － 運転者の操作状態（アクセル、ブレーキ、ハンドルなど）

 **注意**

- 次のような場合は、必ずAT誤発進抑制制御をOFFにしてください。AT誤発進抑制制御が予期しない作動をする可能性があります。
  - － けん引されるとき
  - － キャリアカーに積載するとき
  - － シャシーダイナモメーターやフリーローラーなどを使用するとき
  - － リフトアップし、エンジンをかけタイヤを空転させたいとき
  - － 垂れ幕や旗、垂れ下がった枝、草むらなどに触れながら通過するとき
  - － サーキットなどでスポーツ走行するとき
- 次のような場合は、AT 誤発進抑制制御が作動することがありますので安全運転に努めてください。
  - － 前車に接近して走行するとき
  - － ETCゲートなどを規定速度を超えるような速度で通過するとき
  - － 路面の勾配が急に変化する場所を走行するとき
  - － 水蒸気や煙のかたまりを通過するとき
  - － カーブや交差点に障害物があるとき

## アドバイス

P-CR OFF表示灯が点灯または消灯直後は、AT誤発進抑制制御は作動しません。P-CR OFF表示灯が点灯する主な条件は、次のような場合です。

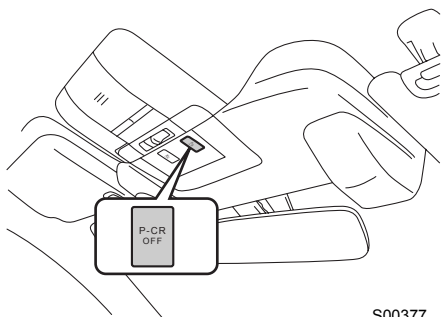
- P-CR OFFスイッチを約2秒以上長押ししたとき
- VDC OFFスイッチを押してVDCを作動停止状態にしたとき
- エンジン始動後の約7秒間
- EyeSightが故障したとき※
- EyeSightが一時停止したとき※

※57ページ参照

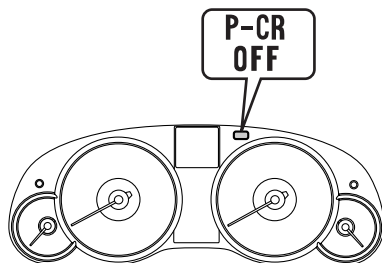
## AT誤発進抑制制御をOFFにするとき

P-CR OFFスイッチを約2秒以上長押しすることによって、AT誤発進抑制制御をOFFにすることができます。OFFにすると、メーター内のP-CR OFF表示灯が点灯します。

ONに戻すときは再度P-CR OFFスイッチを約2秒以上長押ししてください。ONにすると、P-CR OFF表示灯が消灯します。



S00377



S00381

## アドバイス

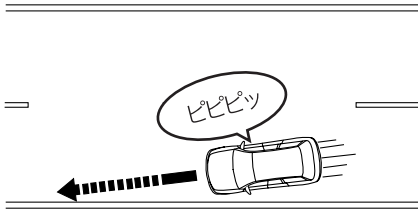
- AT誤発進抑制制御をOFFにするとプリクラッシュブレーキもOFFになります。
- AT誤発進抑制制御をOFFにしても、エンジンスイッチをOFFにし、再度エンジンを始動するとAT誤発進抑制制御はONになります。

# 車線逸脱警報

車速が約40 km/h以上のときに車線を逸脱しそうになると注意を促します。

車線逸脱警報が作動するとブザー音が“ビピピ”と鳴り、マルチインフォメーションディスプレイのハンドル表示と左右の車線表示が同時に点滅します。

また、ふらつき警報が作動した後も、ふらつきが収まらない場合は、車線逸脱警報が通常より早いタイミングで作動します。



S00399



S00389

## 警告

車線逸脱警報はあらゆる状況で作動するものではありません。また、逸脱を自動的に回避するものでもありません。車線の維持を車線逸脱警報のみに頼っていると、車線逸脱による事故につながるおそれがあります。

## 注意

次の場合、車線逸脱警報は作動しません。

- 車線逸脱警報をOFFにしているとき
- 自車の速度が約40 km/h未満のとき
- 一度車線逸脱警報を行った後の約5秒間
- ハンドルを大きくまたは速く切ったとき
- ブレーキを踏んでいるとき
- アクセルを踏んで加速しているとき
- 先行車との車間距離が短いとき
- 方向指示器作動中とレバーを戻した後の約5秒間
- 車線逸脱警報作動後、車線の内側に戻っていないとき
- 車線の幅が狭いとき
- 車線が認識しづらいとき
- 先行車が障害物を避けるため回避行動をとり、それに続いて自車もハンドル操作を行ったとき

### 🏠 アドバイス

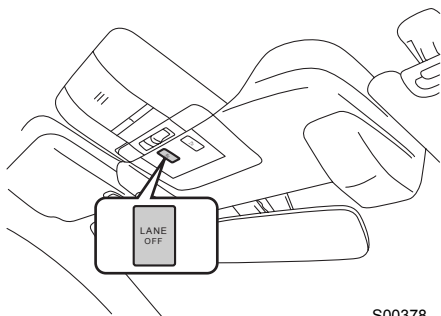
次の場合、車線を誤って認識し、車線逸脱警報が作動することがあります。

- 濡れた路面や積雪路でのタイヤの跡など
- 雪とアスファルトの境目や道路の補修跡など
- 二重車線など

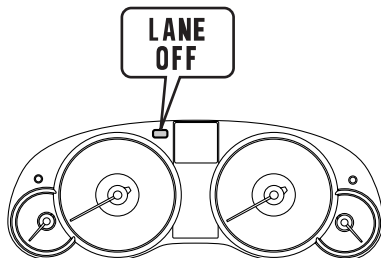
## 車線逸脱警報をOFFにするとき

LANE OFFスイッチを約2秒以上長押しすることによって、車線逸脱警報をOFFにすることができます。OFFにすると、メーター内のLANE OFF表示灯が点灯します。

ONに戻すときは再度LANE OFFスイッチを約2秒以上長押ししてください。ONにすると、LANE OFF表示灯が消灯します。



S00378



S00384

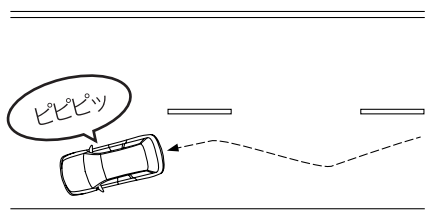
### 🏠 アドバイス

- 車線逸脱警報をOFFにすると、ふらつき警報もOFFになります。
- エンジンスイッチを OFF にし、再度エンジンを始動しても、エンジンスイッチをOFFにする前の状態を保ちます。

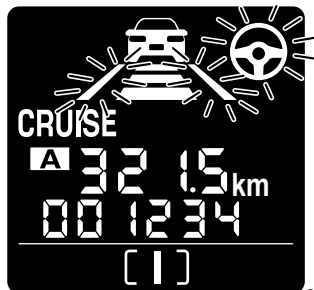
# ふらつき警報

車線内での車両の蛇行パターンからふらつきを認識し注意を促します。ふらつき警報が作動するとブザー音が“ピピピ”と鳴り、ハンドル表示が点滅し、車線表示が左右交互に点滅します。

車速が約50 km/h以上で作動します。



S00400



S00383

## 警告

ふらつき警報はあらゆる状況で作動するものではありません。また、ふらつきを自動的に修正するものでもありません。自車がふらつかないようにすることをふらつき警報のみに頼っていると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 注意

次の状況の時は、作動しない場合があります。

- カーブが連続する道を走行しているとき
- 車速が大きく変動するとき
- 車線変更をした直後のとき
- 車線が認識しづらいとき

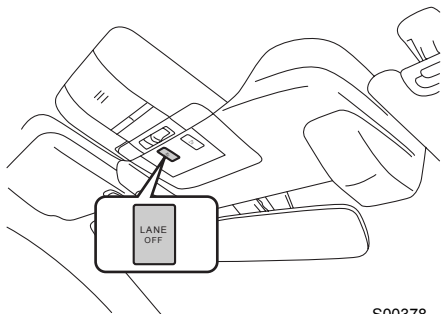
## アドバイス

- ふらつきは過去数分間の走行データを元に認識しています。ふらつきはじめてもすぐには認識できません。また、ふらつきが収まったあともしばらくふらつき警報の作動が続くことがあります。
- ふらつき警報はつかれた時やよそ見など運転への集中度が落ちた時にも警報を行うことがあります。必要に応じてこまめに休憩をとることをお奨めします。

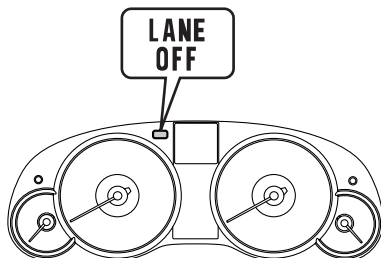
## ふらつき警報をOFFにするとき

LANE OFFスイッチを約2秒以上長押しすることによって、ふらつき警報をOFFにすることができます。OFFにすると、メーター内のLANE OFF表示灯が点灯します。

ONに戻すときは再度LANE OFFスイッチを約2秒以上長押ししてください。ONにすると、LANE OFF表示灯が消灯します。



S00378



S00384



### アドバイス

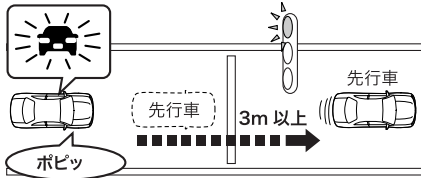
ふらつき警報をOFFにすると、車線逸脱警報もOFFになります。エンジンスイッチをOFFにし、再度エンジンを始動しても、エンジンスイッチをOFFにする前の状態を保ちます。

# 先行車発進お知らせ

先行車の発進後、自車が停止し続けた場合、ブザー音と表示でお知らせします。先行車に続いて停車（車間距離が約10 m以内、かつ自車がしばらく停車）すると先行車を認識し続け、先行車が発進して約3 m以上進んでも自車が発進しないときに作動します。

この機能はセレクトレバーが[D]または[N]で作動します。

この機能が作動すると“ポピッ”というブザー音が鳴り、先行車表示が点滅します。



S00385



S00283

## アドバイス

次のような状況では、先行車が発進していなくても先行車発進お知らせが働いてしまう場合や、先行車が発進していても先行車発進お知らせが働かない場合があります。

- 停止した先行車との間にオートバイなどが割り込んできたとき
- 天候や道路形状などにより、先行車を認識できないとき
- 先行車を見失ったとき
- [D]レンジでドライバーがブレーキを踏んでいないときは、作動しません。（停止保持中を除く）



# 定速クルーズコントロール

## 定速クルーズコントロールについて

定速クルーズコントロールは、高速道路や自動車専用道路でのドライブをより快適に行っていたくための運転支援システムです。運転者が設定した車速を保ちながら、一定の速度で走行することができます。

### 警告

- 定速クルーズコントロール中は車間距離を保つ追従走行を行いません。先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転を心がけてください。
- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので定速クルーズコントロールを使わないでください。
  - － 交通量の多い道や急カーブのある道路状況にあった速度で走行できないため事故につながるおそれがあります。
  - － 凍結路や積雪路など滑りやすい路面  
タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。
  - － 急な下り坂  
急な下り坂ではエンジンブレーキが充分効かないため、セット車速を超えてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 注意

クルーズコントロールを使用するときは、全車速追従機能付クルーズコントロール、定速クルーズコントロールのどちらのクルーズコントロールが選択されているかをマルチインフォメーションディスプレイで必ず確認してください。

- 全車速追従機能付クルーズコントロール
  - － 車間設定表示があります。



S00276

次ページへ ⇒


⇒前ページより

- 定速クルーズコントロール  
ー 車間設定表示がありません。



S00277

### アドバイス

- CRUISE（クルーズ）スイッチを ON にしたときは、初めは全車速追従機能付クルーズコントロールになります。
- クルーズコントロールの切り替えは、（車間設定）スイッチを約2秒以上長押しする事により行います。  
（クルーズメイン ON で全車速追従機能付クルーズコントロールおよび定速クルーズコントロールをセットしていないときのみ有効）

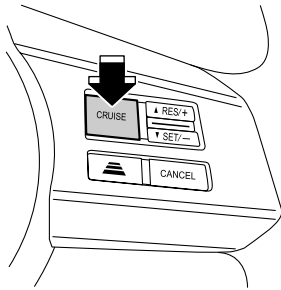
## 定速クルーズコントロールの使用法

以下の条件のときにセットできます。


- セレクトレバーがDのとき
- ブレーキペダルを離しているとき
- 自車速が40 km/h～100 km/hのとき

① 定速クルーズコントロールをスタンバイさせます。

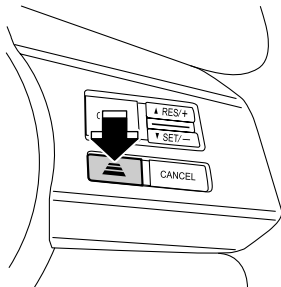
CRUISE（クルーズ）スイッチを押します。このときマルチインフォメーションディスプレイに“CRUISE”と“車間設定”が表示されます。（CRUISEスイッチを押したときは常に全車速追従機能付クルーズコントロールとして起動します。）



S00284

② （車間設定）スイッチを約2秒以上押して全車速追従機能付クルーズコントロールから定速クルーズコントロールに切り替えます。

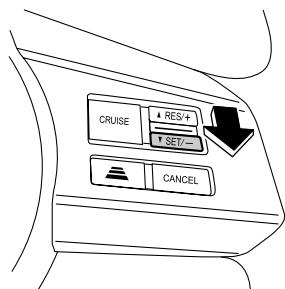
このときマルチインフォメーションディスプレイの車間設定表示が消え、セット車速がTRIP表示になり、“CRUISE”のみが表示されます。



S00293

③定速クルーズコントロールをセットします。

車速が約40 km/h～100 km/hのときに、RES/SETスイッチをSET/－側に押します。スイッチを押し下げたときの車速がセット車速となり、定速走行します。マルチインフォメーションディスプレイに“SET”と表示されます。セット車速は表示されません。



S00294

**警告**

定速クルーズコントロール作動中は、ブレーキ踏み増し要求警報は作動しません。

**注意**

- 定速クルーズコントロールでは、先行車に合わせたアクセル、ブレーキ制御を行いません。必要に応じてアクセル、ブレーキ操作をしてください。
- 急な下り坂などでは、セットした車速を超えてしまう場合があります。必要に応じてブレーキ操作を行ってください。

**アドバイス**

- 全車速追従機能付クルーズコントロールに戻したいときは、定速クルーズコントロールを解除して、車間設定スイッチを約2秒間長押しします。
- 定速クルーズコントロールで走行中、アクセルペダルを踏むと加速しますが、アクセルペダルを戻すとセットした車速で定速走行に戻ります。

④セット車速を変えます。

### セット車速を上げたいとき（タップアップ/アクセラレート）

次の3つの方法があります。

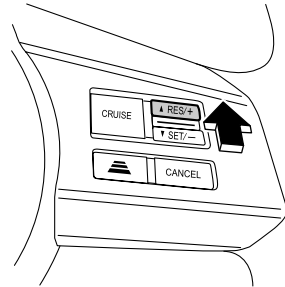
- タップアップ

RES/SETスイッチをRES/+側に押すと、セット車速が1 km/hきざみで上がります。

- アクセラレート

RES/SETスイッチをRES/+側に長く押しと、押している間だけ加速します。

このあと、スイッチを離れたときの車速で再セットされます。

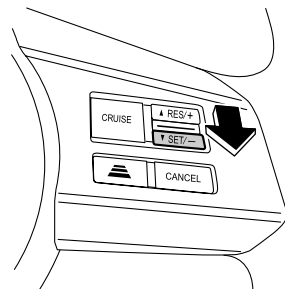


S00295

- アクセルペダルによる方法

アクセルペダルを踏み、速度を上げます。

希望の速度になったら RES/SET スイッチをSET/-側に押します。スイッチを離れたときの車速で再セットされます。



S00288

### セット車速を下げたいとき（タップダウン/コースト）

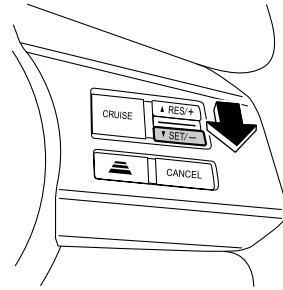
次の3つの方法があります。

- タップダウン

RES/SETスイッチをSET/－側に押すと、設定速度が1 km/hきざみで下がります。

- コースト

RES/SETスイッチをSET/－側に長く押し、押し続けている間だけ減速します。このあと、スイッチを離れたときの車速で再セットされます。

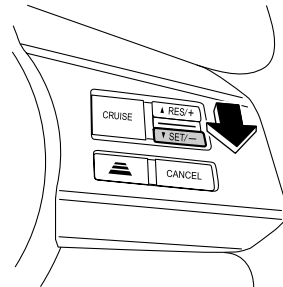


S00288

- ブレーキペダルによる方法

ブレーキペダルを踏み、速度を下げます。（定速クルーズコントロールが解除されます。）

希望の速度になったら RES/SET スイッチをSET/－側に押します。スイッチを離れたときの車速で再セットされます。



S00288

⑤一時的に加速したいときは、アクセルペダルを踏みます。

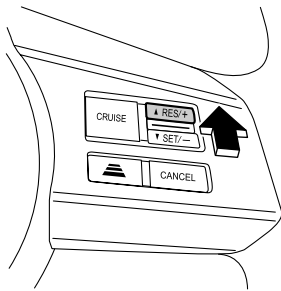
アクセルペダルを離すと、セット車速まで戻ります。

- ⑥減速したいときは、ブレーキペダルを踏みます。  
このとき、定速クルーズコントロールは解除されます。



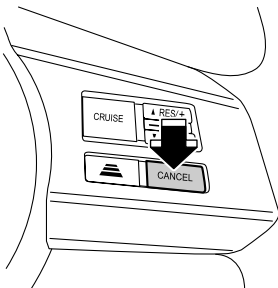
S00397

解除前のセット車速で再び設定したいときは、RES/SETスイッチをRES/+側に押しします。マルチインフォメーションディスプレイが再びセット状態の表示になります。

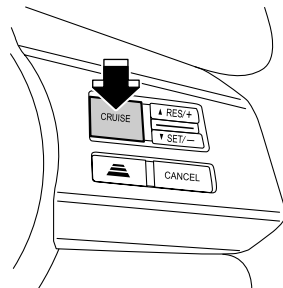


S00398

- ⑦定速クルーズコントロールを解除したいときは、次のいずれかの操作をします。
- CANCEL (キャンセル) スイッチを押す。
  - CRUISE (クルーズ) スイッチを押す。
  - ブレーキペダルを踏む。



S00298



S00299

### 自動解除

次の場合は“ピー”というブザー音とともに制御が自動で解除されます。以下の条件が解消された後に再度セット操作をしてください。

- セレクトレバーを[D]レンジ以外にしたとき  
[D]レンジに戻すことにより、復帰します。
- ATをマニュアルモードにしたとき  
[D]レンジに戻すことにより再度使用することができます。
- [D]レンジで走行中パドルシフトを操作したとき  
シフト表示が[D]に戻ると再度使用することができます。
- VDCをOFFにしたとき  
VDCをONに戻すことにより再度使用することができます。
- 自車速が約30 km/h以下になったとき（急な登り坂など）
- 自車速が約140 km/h以上になったとき（急な下り坂など）
- ABS、VDCまたはTCSが作動したとき
- 運転席のドアを開けたとき
- 運転席のシートベルトを外したとき
- 電動パーキングブレーキがかかっているとき（(!)が点灯または点滅しているとき）
- EyeSightに異常があるとき（57ページの「EyeSightの故障および一時停止」参照）
- ハンドルを大きく回したとき
- 道路の勾配が急なとき



### 警告

滑りやすい路面では、思わぬ事故につながるおそれがありますので、定速クルーズコントロールを使用しないでください。



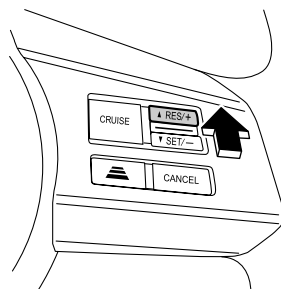
### アドバイス

- EyeSight が故障した場合は EyeSight 警告灯、P-CR OFF 表示灯および LANE OFF 表示灯が点灯します。その場合は安全な場所に停車して、一度エンジンを止めてから再びエンジンを始動してください。この操作をしても表示が点灯し続けるときは、定速クルーズコントロールの使用ができません。通常走行には支障はありませんが、スバル販売店で点検を受けてください。
- 定速クルーズコントロールが自動で解除されたときは、解除されたときの状態が解消されてから、再びセット操作を行ってください。状態が解消されてもセットできないときは、EyeSight の異常が考えられます。通常走行には支障ありませんが、スバル販売店で点検を受けてください。



⑧メモリーされている車速に再びセットします。(リジューム)

前回のセット車速がメモリー※されていますので、その車速に再びセットしたいときは、RES/SETスイッチをRES/+側に押します。(マルチインフォメーションディスプレイが再びセット状態の表示になります。)前回のセット車速がメモリーされている場合、現在の車速が約30 km/h以上でセットが可能です。



S00295

※次の場合はメモリーされている車速が消えます。

- クルーズメインOFFしたとき
- VDC、TCSが作動したとき
- 全車速追従機能付クルーズコントロールから定速クルーズコントロールに切り替えたとき



### アドバイス

- メモリー車速値の表示はありません。(コンビネーションメーター等に表示されません。)
- 40 km/h～100 km/hの範囲でセットされた車速で定速走行します。
- メモリー車速(前回のセット車速)が無い場合 RES/+ スイッチではセットできません。
- RES/+ スイッチで設定した場合は、メモリーされている車速にセットされます。

# ブザー音一覧

ブザー音	状態	参照先
ピー……	プリクラッシュブレーキ 2次ブレーキおよび警報が作動したとき	☆36ページ参照
ピーツ	全車速追従機能付クルーズコントロール、定速クルーズコントロールが自動解除されたとき	☆28ページ参照
	全車速追従機能付クルーズコントロールによる停止保持中に自動的に電動パーキングブレーキが作動したとき	
ピピピ…	プリクラッシュブレーキ 1次ブレーキおよび警報が作動したとき	☆36ページ参照
	プリクラッシュブレーキ 車間距離警報が作動したとき	
	AT誤発進抑制制御が作動したとき	☆39ページ参照
	全車速追従機能付クルーズコントロールによるブレーキ踏み増し要求警報が作動したとき	☆31ページ参照
ピピピッ	車線逸脱警報が作動したとき	☆42ページ参照
	ふらつき警報が作動したとき	☆44ページ参照
ピ、ピ、ピ、ピ、 ピ、ピーツ	全車速追従機能付クルーズコントロールによる停止保持が2分間継続し自動的に電動パーキングブレーキが作動するとき	☆30ページ参照
ピッ	全車速追従機能付クルーズコントロールをセット中に ・先行車を認識したとき※ ・先行車がいなくなったとき※	☆20ページ参照
	モード（全車速追従機能付クルーズコントロール ↔ 定速クルーズコントロール）を切り替えたとき	☆11、49ページ参照
	EyeSightが故障したとき	☆57ページ参照
	EyeSightが一時停止したとき	
ポピッ	先行車発進お知らせが作動したとき	☆46ページ参照

※ 先行車を認識したとき／先行車がいなくなったときのブザー音は、カスタマイズによりOFFに設定することができます。

☆60ページ参照

# EyeSightの故障および一時停止

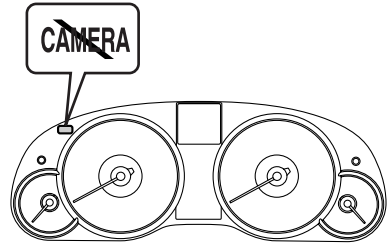
EyeSightに異常がある場合、メーター内表示灯とマルチインフォメーションディスプレイの表示によってお知らせします。表示内容を確認し、適切な処置を行ってください。

## ■故障（ステレオカメラの位置・角度ずれ含む）

- ~~CAMERA~~が点滅するか、~~CAMERA~~、P-CR OFF およびLANE OFFが同時に点灯したとき

原因： EyeSight の故障またはステレオカメラの位置・角度ずれが考えられます。

処置： 点検、調整などが必要です。スバル販売店にご相談ください。



S00394

## ■一時停止

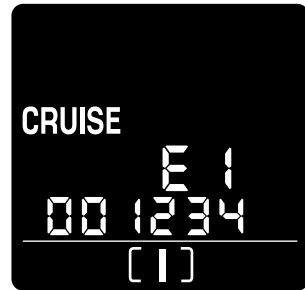
- ブザー音が“ピッ”と鳴り、P-CR OFF 表示灯、LANE OFF表示灯、およびマルチインフォメーションディスプレイ内の“E1”が点灯したとき（“E1”はクルーズメインOFF時は表示されません）

原因： ステレオカメラが前方を認識しにくい状況

- フロントガラスの汚れ、曇り、
- 悪天候時
- 前方からの強い光

処置： フロントガラスに曇りや汚れがある場合は、きれいにしてください。悪天候や前方からの光が強い場合は、その状況が解消されれば一時停止から自動的に復帰します。このとき、復帰に時間がかかる場合があります。

状況が解消して時間がたっても復帰しない場合は、スバル販売店で点検を受けてください。



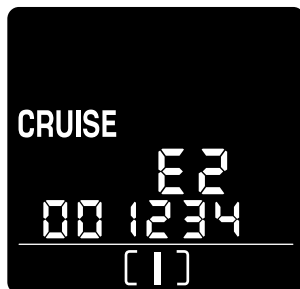
S00278

- ブザー音が“ピッ”と鳴り、P-CR OFF 表示灯、LANE OFF表示灯、およびマルチインフォメーションディスプレイ内の“E2”が点灯したとき（“E2”はクルーズメインOFF時は表示されません）

原因： 低温時／高温時

処置： EyeSight が使用可能な温度になれば、一時停止から自動的に復帰します。

室内が常温でも復帰しない場合は、スバル販売店で点検を受けてください。

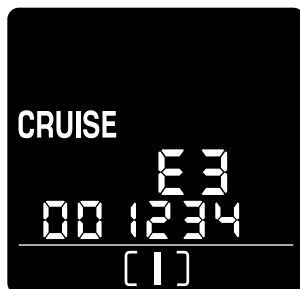


S00279

- ブザー音が“ピッ”と鳴り、P-CR OFF 表示灯、LANE OFF表示灯、およびマルチインフォメーションディスプレイ内の“E3”が点灯したとき（“E3”はクルーズメインOFF時は表示されません）

原因： ● EyeSight起動中  
● 車両が傾いているとき  
● エンジンをかけてから、その後切るまでの間に、プリクラッシュ2次ブレーキが3回作動したとき

処置： 原因が解消されれば、一時停止から自動的に復帰します。このとき、復帰に時間がかかる場合があります。原因が解消して時間がたっても復帰しない場合は、スバル販売店で点検を受けてください。



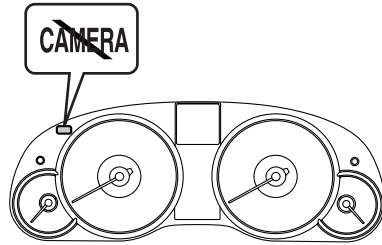
S00280

**⚠ 注意**

走行中に EyeSight 警告灯の点灯とエンジン警告灯の点灯が同時に発生したときは、直ちに車を安全な場所に停めてスバル販売店に連絡し、点検を受けてください。エンジンなどに異常がある場合は、EyeSightは使用できません。

 **アドバイス**

- 前述の一時停止表示が現れたときは、定速クルーズコントロールを除く全てのEyeSightの機能が使用できません。
- EyeSight 警告灯が点灯または点滅したときは、安全な場所に停車して、一度エンジンを止めてから、再びエンジンを始動してください。
- 上記の操作をしても、表示が点灯または点滅し続けるときは、EyeSight の異常が考えられますので、EyeSight の全ての機能が使用できません。通常走行には支障ありませんが、スバル販売店で点検を受けてください。



S00394

# カスタマイズ

エンジンがかかっていてクルーズメインがOFFでセレクトレバーが[P]のとき、警報音量および先行車捕捉音のカスタマイズを設定できます。

≡(車間設定)スイッチを2秒以上押しと、カスタマイズモードになります。

≡(車間設定)スイッチを1回押しことにより「音量(マルチインフォメーションディスプレイに表示されたオドメーター表示部の左に表示されている“1”)」と「先行車捕捉音(マルチインフォメーションディスプレイに表示されたオドメーター表示部の左に表示されている“2”)」のカスタマイズメニューの切り替えができます。

## ①警報音量のカスタマイズ

「音量」を選択し、RES+/RES-スイッチを押すと、音量を大/中/小に設定変更することができます。

警報音量の設定は次のように表示されます。

スイッチを離すと設定が完了し、同時にブザーが“ピピピ”と鳴ります。

音量設定	ディスプレイ
大	1 4.3
中	1 4.2
小	1 4.1

S00386

## ②先行車捕捉音のカスタマイズ

「先行車捕捉音」を選択し、RES+/RES-スイッチを押すと、機能あり/機能なしの設定を変更することができます。

先行車捕捉音の設定は次のように表示されます。ONにすると同時にブザーが“ピッ”と鳴り、OFFにしたときはブザーが鳴りません。

音量設定	ディスプレイ
機能あり	2 on
機能なし	2 of










S00387






### アドバイス














- エンジンスイッチを OFF にし、再度エンジンを始動しても、エンジンスイッチをOFFにする前の状態を保ちます。
- 工場出荷時の警報音量は「大」、先行車捕捉音は「機能あり」に設定されています。











## 故障と思う前に

	クルーズコントロールがセットできない
	CRUISEスイッチを押し忘れていませんか？ 押し忘れているときはCRUISE表示が消灯しています。
	EyeSightが一時停止状態になっていませんか？ EyeSightが一時停止状態の時は、マルチインフォメーションディスプレイに“E1” “E2” “E3”表示されます。 一時停止状態の要因を解消した後、再度設定操作を行ってください。
	[READY]表示が出ていますか？ (全車速追従機能付クルーズコントロール時) [READY]表示が出ていないとセットできません。[READY]表示が出ているときセット操作してください。
	[READY]表示が出ない
	定速クルーズコントロールではありませんか？ 定速クルーズコントロールでは、マルチインフォメーションディスプレイに  (車間設定) が表示されません。
	<p>セットできる条件ですか？ 次のいずれかのときは、[READY]表示は出ません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ブレーキペダルを踏んでいるとき</li> <li>● 自車速が0 km/h～100 km/h以外するとき (先行車がない場合は40 km/h～100 km/h)</li> <li>● コンビネーションメーター内の表示が以外のとき (セレクトレバーやパドルシフトを操作したとき)</li> <li>● 運転席のベルトが外れているとき</li> <li>● 運転席のドアが開いているとき</li> <li>● 電動パーキングブレーキがかかっているとき (Ⓢが点灯または点滅しているとき) ※</li> <li>● 急な坂にいるとき</li> <li>● VDCがOFFのとき</li> </ul> <p>※電動パーキングブレーキの解除方法は「レガシイ取扱説明書」を参照してください</p>

	<p>先行車を認識しない、認識するのが遅い、すぐに認識しなくなる等</p>
	<p>停止車両、極端に遅い車両ではありませんか？ 停止車両や極端に遅い車両は認識が遅れる場合があります。</p>
	<p>フロントガラスが汚れたり、曇ったりしていませんか？ フロントガラスに汚れや曇りがある場合、先行車を認識しない場合があります。 フロントガラスの汚れや曇りを取り除いてから再びご使用ください。</p>
	<p>先行車が遠い距離にいませんか？ ステレオカメラの最大の認識距離は約90 mです。それ以上の距離が開いていると認識しません。</p>
	<p>カーブ路ではありませんか？ 認識範囲は左右に限界があります。</p>
	<p>登り降りが連続した道路（陸橋など）、またはバンク路面（路面が傾いている道路）ではありませんか？ 認識範囲は上下に限界があります。</p>
	<p>先行車が入れ替わっていませんか？ 入れ替わった場合は、認識が遅れる場合があります。</p>
	<p>先行車が水や雪などを巻き上げて走行していませんか？ 水や雪を巻き上げている場合、先行車を認識できない場合があります。</p>
	<p>先行車を見失っていませんか？ 自車が停止後に先行車を見失った場合、再び自車が走行を開始するまで先行車の認識を行いません。</p>
	<p>先行車がないのに制御を行う</p>
	<p>隣車線に車両はありませんか？ 道路状況によっては隣車線の車両を先行車として認識する場合があります。</p>
	<p>カーブ付近を走行中ではありませんか？ カーブ走行中は、ガードレール、路側の構造物に対してブレーキ制御を行う場合があります。</p>



	EyeSightが一時停止から復帰しない
	VDCがOFFになっていませんか？ VDCがOFFのときはEyeSightが一時停止状態になります。
	雨天の中を、古いワイパーのままや、フロントガラスに油膜が付着した状態で走行していませんか？ ワイパーを新品に替え、フロントガラスの油膜を取り除いてください。
	太陽が真正面（西日など）にあったり、夜間対向車の強いヘッドライトをあびていませんか？ この場合、EyeSightが一時停止状態になります。
	ブレーキ踏み増し警報のタイミングが早いとき、または遅いときがある
	ブレーキ踏み増し警報は、先行車との相対距離や相対速度などから、システムが踏み増し要と判断したときに鳴りますので、先行車のブレーキのかけ方によってはタイミングが変わる場合があります。
	先行車離脱の後の加速が遅いとき、または速いときがある
	先行車の離脱タイミングによっては、離脱判断が遅くなる場合があり、加速開始が遅く感じる、ブレーキ制御が長く感じる可能性があります。
	SI-DRIVEはどのモードを選択していますか？ 選択したモードにより、加速が異なります。
	クルーズコントロールが勝手に解除された
	次のいずれかの操作をしている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ブレーキを踏んでいませんか？</li> <li>• キャンセルスイッチを押していませんか？</li> <li>• ATをマニュアルモードにしていませんか？</li> <li>• VDC OFFスイッチを押していませんか？</li> </ul>
	先行車がないのに、先行車発進お知らせが作動する
	車両前方の周辺物や交通環境、天候によって先行車以外の物に対して先行車発進お知らせが作動する場合があります。

	<p>自動ブレーキが作動すると音がする</p>
	<p>自動ブレーキの作動音で異常ではありません。</p>
	<p>渋滞走行時、ブレーキ制御を行う頻度が高い</p>
	<p>人の運転と異なり先行車の動きのみにあわせての制御ですので、頻繁な加減速となる場合があります。なお、このような状況で車間距離が保ちにくい場合は使用を控えてください。</p>
	<p>下り坂でクルーズコントロールを使用中に、弱いショックを感じる</p>
	<p>シフトダウン（低速ギヤに変速する）制御を行っているので弱いショックを感じることがあります。</p>
	<p>停止保持中に電動パーキングブレーキが勝手にかけた</p>
	<p>次の場合は電動パーキングブレーキがかかります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 停止保持状態で約2分経過したとき</li> <li>● 自動解除条件（☆28ページ参照）を満たしたとき</li> </ul>
	<p>RES/SETスイッチをRES/+側に押したらセット車速が減少した またはSET/-スイッチを押し下げたらセット車速が増加した</p>
	<p>スイッチを長押ししていませんか？ スイッチを長押しすると、押している間加速（または減速）し、スイッチを離れたときの車速がセット車速になります。 まれにRES/SETスイッチをRES/+側に長押ししても道路状況によっては減速することがあり、減速後の車速がセット車速になることがあります。</p>

# さくいん

## あ

EyeSight警告灯	9
EyeSightの故障および一時停止	57
EyeSightについて	2

## い

E1	57
E2	58
E3	58

## え

AT誤発進抑制制御	39
AT誤発進抑制制御をOFFにするとき	41
SI-DRIVEセレクター	11

## き

CANCELスイッチ	11
------------	----

## く

クルーズコントロール	13
クルーズコントロールSET表示	8
CRUISEスイッチ	10
クルーズ表示	8

## こ

故障と思う前に	61
---------	----

## し

車間距離警報	36
車間設定スイッチ	11
車間設定表示	8
車間設定を変える	25
車線逸脱警報	42
車線逸脱警報をOFFにするとき	43
車線表示	9

## す

スイッチ	
CANCEL (キャンセル) スイッチ	11
CRUISE (クルーズ) スイッチ	10
車間設定スイッチ	11
SET/- (セット/コースト)	
スイッチ	10
RES/+ (リジューム/ アクセラレート) スイッチ	11
ステレオカメラの取り扱いについて	4

## せ

SET/- (セット/コースト) スイッチ	10
セット車速表示	9
セット車速を変える	22、51
SET表示	8
先行車発進お知らせ	46
全車速追従機能付クルーズコントロール	13
解除	27
使用方法	18

## て

定速クルーズコントロール	
解除	53
使用方法	49
定速クルーズコントロールを	
セットするとき	50

## ひ

P-CR OFF表示灯	9
表示切り替えスイッチ	11

## ふ

ブザー音一覧	56
ふらつき警報	44
ふらつき警報を OFFにするとき	45
ブリクラッシュブレーキ	33
ブリクラッシュブレーキの作動	36
ブリクラッシュブレーキを OFFにするとき	38
ブレーキ踏み増し要求警報	31

## ま

マルチインフォメーションディスプレイ	7
--------------------	---

## め

メーター表示構成	7
SI-DRIVEモード表示	9
CRUISE（クルーズ）表示	8
車間設定表示	8
セット車速表示	9
SET表示	8
先行車表示	8
READY表示	8
メモリーされている車速に 再びセットする	31

## り

RES/+（リジューム/ アクセラレート）スイッチ	11
------------------------------	----

## れ

READY表示	8
LANE OFF表示灯	9

ご意見、ご感想、お問い合わせはお近くのスバル販売店  
または弊社「SUBARUお客様センター」へお願いいたします。

\*お乗りのお車に関してお電話等でお問い合わせをいただく際は、お客さま  
へ正確・迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車  
の車検証等をご準備いただきますようご協力をお願いしております。

①車検証記載事項

型式・車台番号・登録番号・登録年月日

②走行距離

③販売店・担当者名

## SUBARUお客様センター

SUBARUコール 0120-052215

受付時間 9:00~17:00(平日)、土日祝は9:00~12:00、13:00~17:00

SUBARUお客様センターでは下記の内容を承っております。

(1) ご意見/ご感想/ご案内 (カタログ、販売店、転居手続き 他)

(2) お問合せ/ご相談

※平日の12:00~13:00および土日祝は (1) のインフォメーション  
サービスのみとなります。

富士重工業株式会社

スバルカスタマーセンターお客様相談部

〒160-8316 新宿区西新宿1-7-2 (スバルビル)

禁複製・転載

編集・発行

# 富士重工業株式会社

スバルカスタマーセンター

カスタマーセンター企画部